



大日本帝國政府

外務省 亞米利加局長殿

亞米利加局長
警保局外發乙第三二號

昭和十六年四月十四日

內務省 警保局

第三課

數田



課書文
16.4.15
收

亞米利加局長
16.4.15
第三課

避難猶太人ニ對スル査證附與ニ關スル件

最近我國ヲ通過スル避難猶太人頓ニ激増シ爲ニ多數ノ者ガ本邦ニ留
留ノ余儀ナキニ至リ居ル件ニ關シテハ頃來屢連絡シ居ル處ナルガ之
ガ狀況調査ノ結果ニ依レバ之等避難猶太人ノ大部分ハ蘭領西印度キ
ユラソーノ目的國トナシ同國ノ入國査證ヲ有スル者ナル處事實上キ
ユラソーニ入國スル爲ニハ途中バナマ或ハ智利其他ノ諸國ヲ通過ス
ル必要アルモ之等避難民ハ我國ニ渡來ノ際敘上通過國ノ査證ヲ有セ
ズ之ガ手續ノタメ相當長期我國ニ滞留ノ余儀ナキ結果トナリタルモ
、如ク中ニハ遂ニ之等ノ査證ヲ取得スルコトヲ得ズ或ハ途中目的

本信ニ趣旨ニ對シテ
在外公館ニ在ル所
到令セラレハトシ
シテ尚十二日ニ付
弁存付三六更
傳多ク在ル所
ナリレバハ内務省
ニテハ

駐日亞米利加局長
四月十日

大日本帝國政府

國ヲ變更シテ北米等へノ入國査證ヲ本邦内ニテ新ニ申請スル者等ヲ
生ジ居ルノ狀況ニシテ尙又トミニカ政府ニ於テ今次避難猶太人ノ
同國殺到ニ鑑ミ之ガ對策トシテ從來ノ取締方針ヲ強化シ入國條件完
備スルト否トヲ論ゼズ入國人員ニ制限ヲ附スルニ至リ既ニ同國出先
公館ニ於テ入國査證ヲ附與シ之ニ基キ出發中ノ者ト雖モ該査證ヲ無
效ト看做シ各滞在在ニ於テ査證更新ノ申請書四通(各寫眞添付)ヲ
提出セシメ二通ハ査證發給官廳タル領事館ニ保存シ他二通ハ本國政
府ニ於テ其許否ヲ決定シ領事館ハ其指示ニ從ヒ入國査證ヲ附與シツ
、アル趣ニシテ本邦滞在避難猶太人ニシテ前叙ノ手續ヲ了シ同國ノ
入國査證ヲ取得シタルモノハ客年十一月以降十九名ナルガ神戸駐在
同國領事館ニ於ケル割宛數ハ一百名ノ趣ニシテ既ニ發給セル者十九
名ハ割宛數百名中ニ包含セラル、ヤ否ヤ不明ナルガ右領事館ニ於テ
ハ之等十九名モ一應包含セルモノトノ見解ノ下ニ査證事務ヲ處理シ
ツ、アル模様ニ有之仍テ本件ニ關シテハ福井、兵庫等之等避難猶太

大日本帝國政府

人ノ渡來多キ府縣ノ希望等モ有之將來在外帝國公館ニ於テ通過査證
附與ニ當リテハ目下ノ處特ニキヨソノ目的國トスル者ニ對シテハ
本邦ヨリ目的國ニ至ル間ノ通過國ノ手續ヲ完了シタル者ニ限リ又下
ミニカ國ニ入國スル避難猶本人ニ對シテハ入國手續ヲ完了シ確實ニ
入國シ得ル者ニ限リ本邦通過査證ヲ附與セラル、様御配意相煩度此
段及御依頼候也

PARTICULARS OF JEWISH REFUGEES, Trans-Pacific (KOBE, APRIL 15, 1941)

V e s s e l	I		II		III		T O T A L	
	Fare	Passage	Fare	Passage	Fare	Passage	Fare	Passage
17/11(1940)	6	¥ 8,448.00	22	¥ 19,946.69	7	¥ 3,581.47	35	¥ 31,976.16
18/11	2	---	1	896.00	1	448.00	2	1,344.00
27/11	2	3,225.60	12 $\frac{1}{2}$	11,136.17	3	448.03	15 $\frac{1}{2}$	14,809.80
7/12	---	---	3	1,856.00	1	1,237.34	6	3,093.34
16/12	---	---	7	6,314.67	1	448.00	8	6,762.67
21/12	---	---	1	618.67	2	853.34	3	1,472.01
25/12	1 $\frac{1}{2}$	1,280.00	2	1,237.33	8 $\frac{1}{2}$	4,480.00	11 $\frac{1}{2}$	6,997.33
28/12	---	2,464.00	6 $\frac{1}{2}$	5,845.33	---	---	8	8,309.33
21/1 (1941)	---	---	---	---	4	1,728.00	4	1,728.00
28/1	---	---	---	---	6	2,824.68	9	5,472.25
4/2	---	---	3	533.33	7	5,299.20	8	5,832.53
9/2	---	---	1 $\frac{1}{2}$	3,989.33	1	405.33	7 $\frac{1}{2}$	4,394.66
9/2	---	---	6 $\frac{1}{2}$	7,129.60	6	2,623.99	14 $\frac{1}{2}$	9,753.59
18/2	---	---	8 $\frac{1}{10}$	4,544.00	16 $\frac{1}{2}$	7,300.27	21 $\frac{1}{2}$	11,844.27
4/3	---	---	5 $\frac{1}{2}$	5,708.21	4	1,706.68	13 $\frac{1}{2}$	7,414.89
13/3	---	---	9 $\frac{1}{2}$	5,749.34	---	---	6 $\frac{1}{2}$	5,749.34
18/3	---	---	6 $\frac{1}{2}$	24,756.00	35 $\frac{1}{2}$	15,498.70	66	44,913.90
25/3	3	4,659.20	9 $\frac{1}{2}$	5,119.99	60	24,902.99	68 $\frac{1}{2}$	30,022.98
2/4	---	---	8 $\frac{1}{2}$	8,428.01	---	---	9 $\frac{1}{2}$	8,428.01
8/4	---	---	---	---	---	---	---	---
T O T A L	13 $\frac{1}{2}$	¥20,076.80	140 $\frac{1}{10}$	¥116,456.24	163 $\frac{1}{2}$	¥73,786.02	317 $\frac{1}{10}$	¥210,319.06
Polish	1	---	50 $\frac{1}{10}$	---	76 $\frac{1}{2}$	---	127 $\frac{6}{10}$	---
German	12 $\frac{1}{2}$	---	82 $\frac{1}{2}$	---	86	---	181	---
Others	---	---	7 $\frac{1}{2}$	---	1	---	8 $\frac{1}{2}$	---
TOTAL	13 $\frac{1}{2}$	---	140 $\frac{1}{10}$	---	163 $\frac{1}{2}$	---	317 $\frac{1}{10}$	---

PARTICULARS OF JEWISH REFUGEES, Trans-Pacific, Holding BERLIN or STOCKHOLM P.O.
(Kobe, April 15, 1941)

1940	V e s s e l	Marru	I		II		III		T O T A L	
			Fare	Passage	Fare	Passage	Fare	Passage	Fare	Passage
17/11	He	68-0	6	¥ 8,448.00	21	¥19,040.02	5	¥ 3,234.14	32	¥ 30,722.16
18/11	Kamakura	11-0	---	---	1	896.00	---	---	1	896.00
27/11	Asama	61-0	---	---	5	4,416.00	---	---	5	4,416.00
7/12	Heian	67-0	---	---	3	1,856.00	2	810.67	5	2,666.67
16/12	Tatuta	65-0	---	---	7	6,314.67	1	426.67	8	6,741.34
21/12	Hikawa	70-0	---	---	1	618.67	8 $\frac{1}{2}$	4,480.00	9 $\frac{1}{2}$	5,098.67
25/12	Rakuyo	35-0	1 $\frac{1}{2}$	1,280.00	2	1,792.00	---	---	3 $\frac{1}{2}$	3,072.00
28/12	Nitta	4-0	---	---	---	---	---	---	---	---
1941										
21/1	Kamakura	12-0	---	---	---	---	1	448.00	1	448.00
28/1	Heian	68-0	---	---	---	---	---	---	---	---
4/2	Tawata	3-0	---	---	---	---	---	---	---	---
9/2	Heiyo	27-0	---	---	1	533.33	4	2,822.40	5	3,355.73
18/2	Asama	62-0	---	---	---	---	---	---	---	---
4/3	Tatuta	66-0	---	---	---	---	4	1,706.67	4	1,706.67
13/3	He	69-0	---	---	---	---	---	---	---	---
18/3	Nitta	5-0	---	---	3	1,856.00	---	---	3	1,856.00
25/3	Kamakura	13-0	---	---	2	6,677.33	21 $\frac{1}{2}$	1,066.67	23 $\frac{1}{2}$	7,744.00
2/4	Heian	69-0	---	---	7	1,237.00	---	---	7	1,237.00
8/4	Yawata	4-0	---	---	2	6,229.34	---	---	2	6,229.34
T O T A L			8 $\frac{1}{2}$	¥12,192.00	63 $\frac{1}{2}$	¥54,156.60	82 $\frac{1}{2}$	¥37,668.89	154 $\frac{1}{2}$	¥104,017.49

PARTICULARS OF JEWISH REFUGEES TRANS-PACIFIC THROUGH THOS. COOK(Kobe, April 15, 1941)

Vessel	I			II			III			TOTAL	
	Fare	Passage	Fare	Passage	Fare	Passage	Fare	Passage	Fare	Passage	
7/11(1940) Hie	-	-	1	¥ 906.67	-	-	1	¥ 448.00	1	¥ 906.67	
18/11 Kemakura	-	-	3	2,688.00	-	-	1	426.67	5	¥ 5,913.60	
27/11 Asama	2	¥3,225.60	-	-	-	-	-	1	426.67	448.00	
7/12 Heian	-	-	-	-	-	-	-	1	426.67	448.00	
16/12 Ratuta	-	-	-	-	-	-	-	1	426.67	426.67	
21/12 Hikawa	-	-	3½	3,136.00	-	-	3	1,280.00	3	¥ 3,136.00	
28/12 Nitta	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1,280.00	
21/1 (1941) Kamakura	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1,749.33	
28/1 Heian	-	-	2	1,749.33	-	-	3	2,476.80	5	¥ 4,276.80	
4/2 Yawata	-	-	-	-	-	-	-	1	405.33	4,394.66	
9/2 Heiyo	-	-	6½	3,989.33	-	-	6	2,623.99	14	¥ 9,753.59	
18/2 Hikawa	-	-	8½	7,129.60	-	-	10½	4,697.60	15	8,900.64	
4/3 Asama	-	-	5	4,203.04	-	-	4	1,706.68	7	3,597.15	
13/3 Ratuta	-	-	3½	1,990.47	-	-	3	3,082.67	5	37,169.90	
18/3 Hie	-	-	3	3,082.67	-	-	5	14,432.03	12	6,111.98	
25/3 Nitta	3	4,659.20	20	18,078.67	-	-	33	2,229.32	2	2,218.67	
2/4 Kamakura	-	-	6½	3,882.66	-	-	5	-	-	-	
8/4 Heian	-	-	2	2,218.67	-	-	-	-	-	-	
Yawata	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
TOTAL	5	¥7,884.80	65½	¥53,055.11	70	¥31,601.09	140½	-	140½	¥92,541.00	

PARTICULARS OF JEWISH REFUGEES FOR AUSTRALIA AND INDIA(Kobe, April 15, 1941)
FOR AUSTRALIA

Vessel	I		II		III		TOTAL	
	Fare	Passage	Fare	Passage	Fare	Passage	Fare	Passage
20/8 (1940) Kamo Maru	-	-	1	¥ 110.00	-	-	1	¥ 110.00
25/9 Atuta	-	-	5	550.00	-	-	5	550.00
21/10 Kitano	1	170.00	5	550.00	-	-	1	170.00
19/11 Kamo	-	-	2	220.00	-	-	2	220.00
18/2 (1941) Husimi	-	-	-	-	-	-	-	-
TOTAL	1	¥ 170.00	13	¥ 1,430.00	-	-	14	¥ 1,600.00

FOR BOMBAY

Vessel	I			II			III			TOTAL	
	Fare	Passage	Fare	Passage	Fare	Passage	Fare	Passage	Fare	Passage	
22/11 (1940) Anyo Maru	5	¥ 3,600.00	10	¥ 4,542.90	2	¥ 692.58	15	¥ 8,142.90	-	-	
2/1 (1941) Hakone	-	-	-	-	-	-	2	692.58	2	692.58	
20/1 Haruma	-	-	1	(SH) 60.00	7	2,424.03	7	2,424.03	7	2,424.03	
21/2 Anyo	5	(SH)450.00	-	-	-	-	1	60.00	1	60.00	
3/4 Hakone	-	-	-	-	-	-	5	450.00	5	450.00	
TOTAL	10	¥ 4,050.00	11	¥ 4,602.90	9	¥ 3,116.61	30	¥11,769.51	44	-	
GRAND TOTAL (AUSTRALIA & BOMBAY)	11	-	24	-	9	-	44	-	-	-	
Nationality											
German	6	-	13	-	-	-	19	-	-	-	
Polish	5	-	11	-	9	-	25	-	-	-	
TOTAL	11	-	24	-	9	-	44	-	-	-	

第三課長

本邦以来歐洲避難民ノ状況

昭和十六年四月十五日

一 渡来者數及通過査証附共數

歐洲避難民ノ昭和十五年四月五日頃より漸次多數渡来シ其數
 昭和十五年申二千七十一名 同十六年三月迄九百七十三名合計三
 千四百四十六名(内約一千七百名程在本邦ニ滞留ス)他面在歐各公
 館ニ於テ昭和十五年一月以来同十六年三月中旬迄ニ歐洲避難
 民ニ對シ通過査証ヲ其ヘタル者ノ數ハ五千五百八十名ナリ。故ニ
 我邦ノ通過査証ヲ其ヘタル者ニシテ尙ホ未タ本邦ニ渡来セサル
 者ノ數ハチクモ約二千五百名ナルヘキ筈ナリ

二 避難民ノ取扱方ニ關スル訓令

歐洲避難民ノ取扱方ニ關シテ、在外公館ニ於テ通過訓令セラル

- (一) 昭和十三年十月七日在欧各公館宛歐洲避難民ニ對シテ、(一)入不査証拒絶スルコト (二)通過査証ハ行先至入不手続ヲ完了シ居リ

極秘

(日本標準規格 B5)

外務省

且二百五十元以上ノ携帶金ヲ有スル者ニ限リ附共差支ナキ旨訓令セラル

同時ニ其ノ旨在外各公館ニ訓令セラル

- (二) 昭和十三年十一月七日在外各公館宛猶大避難民ニ對シテ、(一)入不査証ニ之ヲ取扱フテ、(二)前掲(一)訓令ニ依リ處理スヘキ旨訓令セラル

- (三) 昭和十五年七月二十三日在欧各公館宛本邦經由米大陸行避難民ニ對シテ、(一)入不査証ニ之ヲ取扱フテ、(二)行先至入不手続ヲ完了セシ者ニ非サレハ通過査証ヲ其ヘタル取扱方爲念訓令セラル

- (四) 在「カウナス」領事館ニ對シテ、昭和十五年八月十六日同館査証ノ避難民中ニハ行先至入不手続未済者爲又ニ携帶金僅ク爲上陸ヲ許可スルヲ得ル之カ處置方ニ困リ居ル事例アルニ付此際陸

難民ト看做サルヘキ者ニ對シテ、行先至入不手続ヲ完了シ居リ且
 旅費及本邦滞在費等相當携帶金ヲ有スルニアラサレハ通過査証ヲ其ヘサル様取扱方訓令セラル

(日本標準規格 B5)

外務省

(五) 前掲(四) 訓令ニ對シテ在「カウチ」領事館ヨリ同地ニ中南米諸國ニ在
 外官憲ナキニ付確實ナル紹介者アル者ニ限り浦塩乗船迄ニ行先
 入不許可取付方乗船後均方並ニ携帶金ニ付テ在外資金
 フル邦ニ轉送方等ヲ夫々手配スル者ニ對シテ右金ノ條件ト
 シテ通過直証ヲ其へ居ルニ付右手配未了ノ者ニ對シテ浦塩ニ於テ
 乗船ヲ拒絶スル様致カサル未定アリタルニ付之ニ對シ十五午九月三
 日因館ニ對シ船会社カ我々ノ通過直証ヲ有スル者ノ乗船ヲ浦塩
 ニ於テ蘇官憲ノ命令ニ反シテ乗船ヲ拒絶スルコトノ事實不可他
 コトナルミナラス右ノ我々直証ノ信用ヲ害スルモノナルニ付前定ノ通
 嚴重取扱アリタキ旨更ニ訓令セラレタリ
 (六) 昭和十五年九月三十日蘇及在政各公館宛本邦通過歐洲避難民
 中ノ先入不手配未了又ニ携帶金僅少ノ者ヲナカラサルニ付(一)入
 不盡証、附與セザル様(二)通過者、必ス行先不不入不手配ヲ完了シ

(日本標準規格 B5)

外務省

居リ且目的地ニ至ル旨ノ所要船車賃ノ外在邦滞在日數ニ應ジ一人
 一日當リ最低二十五金見當ノ宿泊料金ヲ必要トスルコトニ取扱方
 訓令セラル同付ニ此ノ在外各公館宛訓令セラル
 (七) 昭和十五年十二月二十日蘇及在政各公館宛中南米諸國ニ歐洲
 民ニ對シ入不許可制ヲ嚴重施行中ニシテ最近「パナマ」ニ於テ郵船
 ニテ輸送セル因不入及「パナマ」中継「コスタリカ」蘭領「キラノ」
 「ホンヂ」
 「ラス」
 「ドミニカ」
 「ハイチ」等ノ中米諸國ニ於テ歐洲避難民ニ十數名ニ對シ何レ
 モ行先不盡証「パナマ」領事ノ直証アルニ拘ラス要件ニ政府ノ事前許可ヲ
 受ケ居ラサル理由ニ下ニ船ヲ拒絶セラレタル事件アルニ付以後中米諸
 國ニ於テ避難民ニ付テハ最ニ訓令ノ携帶金其他ノ條件ヲ備フル外
 (一) 凡テ行先不領事ノ入不盡証ト共ニ豫メ行先不政府ノ入不許可ヲ交
 ケタル確証ヲ有スル者(二) 又是等避難民ニシテ「パナマ」ニ下船スル者ニ
 付天同不領事ノ通過直証ト共ニ豫メ「パナマ」不政府ノ下船許可ヲ受テ

(日本標準規格 B5)

外務省

ル確証ヲ有スル者ニ非カレハ本邦通過を止ルル其ノ様取扱方訓定セラル

イ 昭和十六年一月十一日在京英大使館ヨリ本首宛旧ヲトウアア及リス
 アニア人ニシテ過去ニ於テ英官憲ノ移住許可ヲ取付ケタルモノ
 數百名カ、パレスタインヘ赴ク為ニ本邦通過を止ルル方運動中ノ由ナ
 ルニ、パレスタイン政府、此種移民中ニ替至混入ノ虞アル為ニ周調査
 ノ上ニ非カレハ入不ヲ許可セサル趣通報アリタルニ付、此ノ旨ヲ在蘇
 大使へ注意方電報セラル

九 昭和十六年二月三日在政各館宛「ラシ」ニ於テ猶大避難民
 ニ對シ本年一月七日以前ニ首証取付者ノミ入不又、通過ヲ
 許可スルコト、ナリタル旨訓定セラル

十 昭和十六年三月十七日蘇及在政各館宛「ラシ」ニ於テ歐洲避難民ニ對シ
 テ通過を止ルル附其スル在外公館ヲ在蘇大使館ニ限定スルコト
 並ニ因館ニ於テ在止ルル者ハ、數ハ本首ヨリ訓令スルコトニ取扱

(日本標準規格 B5)

外務省

方夫々訓定セラル

十一 昭和十六年三月十九日蘇及浦塩宛昭和十五年五月二十日以前ニ歐
 洲避難民ニ共ニタル我方通過を止ルル南洋校閱ノ上先行先入不ヲ手邊
 ノ完全ナル者ニ對シテ、核印ヲ施シ核印ナキ者ハ本邦船ニ乗取セシメ
 ガルコトニ取扱方訓定セラル

三 本邦停滯者ト共ニ滯留事由

以上ノ如ク避難民ノ取扱方ニ付テ、昭和十三年十月以來、數次ニ亘リ訓令セ
 ラルル迄アリ、暹羅ノ暹証ナキ限リ本邦ニ停滯者ヲ生スル苦ナキモノ如
 ト雖モ内務省ノ報告ニ依リハ是等通過避難民ニシテ本邦ニ滯留セル
 者ノ數昭和十六年三月二十日現在ニ於テ千七百名ニ達シ居レリ(其ノ内譯
 別表ノ通) 其ノ後尙多ク増加セルモノ如シ其ノ理由大抵左ノ如シ

(一) 中米諸島及パレスタイン行ノ如ク我方通過を止ルル附其後先行先入不
 手邊ニ改正アリ、先行先入領事入不並止アリト雖モ夫レノミニテ入不

(日本標準規格 B5)

外務省

難ク更ニ行先王政府ノ入不許可ヲ必要トスルニ至リタルモ
 本件ニ付テハ前記訓令(ハ)ノ通要係公館ニ訓令アリタレトモ夫
 レ以前ニ於テ査証備シテ相当アリタリト思考セラル
 (ニ)行先王ノ入不査証ナキモノ
 本事由主トシテ在「カウナス」領事館ノ取扱シモノニ多ク前記訓
 令(四)及(五)ノ通り同館ニ注意ヲ其ヘラレタルモ夫レ以前既ニ査証済
 ノモノ多敷アリシ如シ 同館ニ於テ通過査証ヲ其ヘン者ノ總數
 一ニ千五三十二名ナリ

(三)我方通過査証附其後ニ於テ行先王ノ入不査証ノ有效期間經過ニ為
 更ニ手渡中(之) (移民査証)
 米不行ノ如キハ同不入不査証ノ有效期間四箇月ニシテ必ズ手
 渡中ニ時日ヲ要シ遂ニ其期ヲ超過スルニ至リシ者相當
 アリ、本事由該者ノ多ク時日ニ要スルモ延長許可ヲ獲得

外務省

(日本標準規格 B 5)

スルノ見込アルヘシ

(四)單ニ一時的船待中ノモノ
 結局就中問題トナルハ前記(一)該者者ナリト認メラル

御参考 過日郵船係員未段ノ際體ルトヨロシ依リ同社ニ於テハ過去ノ
 取扱経験ニ鑑ミ縱令行先同領事ノ査証アリト雖モ米國
 エクアドル以外ノ諸國行遊難民ニ就テハ其ノ世事亦爾ニ同シ
 相當不安ヲ感シ居レル由

外務省

(日本標準規格 B 5)

國別	事由	歐洲避難民滞留者		合計
		入不手続完全 入不手続完全者 于船待中者	入不手続完全者 于船待中者	
獨逸		三	二	五
波蘭		三	二	五
瑞典		一	二	三
諾威		一	一	二
合計		七	四	一一

三月二十七日現在 神奈川県

(日本標準規格 B5)

國別	事由	歐洲避難民滞留者		合計
		入不手続完全 入不手続完全者 于船待中者	入不手続完全者 于船待中者	
北米		八〇	四九	一二九
南米		一〇	三九	四九
中南米		一〇	二九	三九
独逸		四一	一七	五八
波蘭		三	二	五
瑞典		一	一	二
諾威		一	一	二
合計		一三六	一四七	二八三

三月二十日現在 兵庫県

(日本標準規格 B5)

I-0882

本邦渡來歐洲避難民ノ狀況 昭和十五年四月十五日調

一、渡來者數及通過査證附與數

歐洲避難民ハ昭和十五年四月頃ヨリ漸次多數渡來シ來リ其ノ數昭和十五年中二千七十一名、同十六年二月迄九百七十三名合計三千四十四名ニ達ス(内約一千七百名現在本邦ニ滞留ス)他面在歐各公館ニ於テ昭和十五年一月以來同十六年三月中旬迄ニ歐洲避難民ニ對シ通過査證ヲ與ヘタル者ノ數ハ五千五百八十名ナリ、故ニ我方ノ通過査證ヲ與ヘタル者ニシテ尙未タ本邦ニ渡來セサル者ノ數ハ少クモ約二千五百名以上アルヘキ筈ナリ

二、避難民ノ取扱方ニ關スル訓令

歐洲避難民ノ取扱方ニ關シテハ在外公館ニ左ノ通訓令セララル

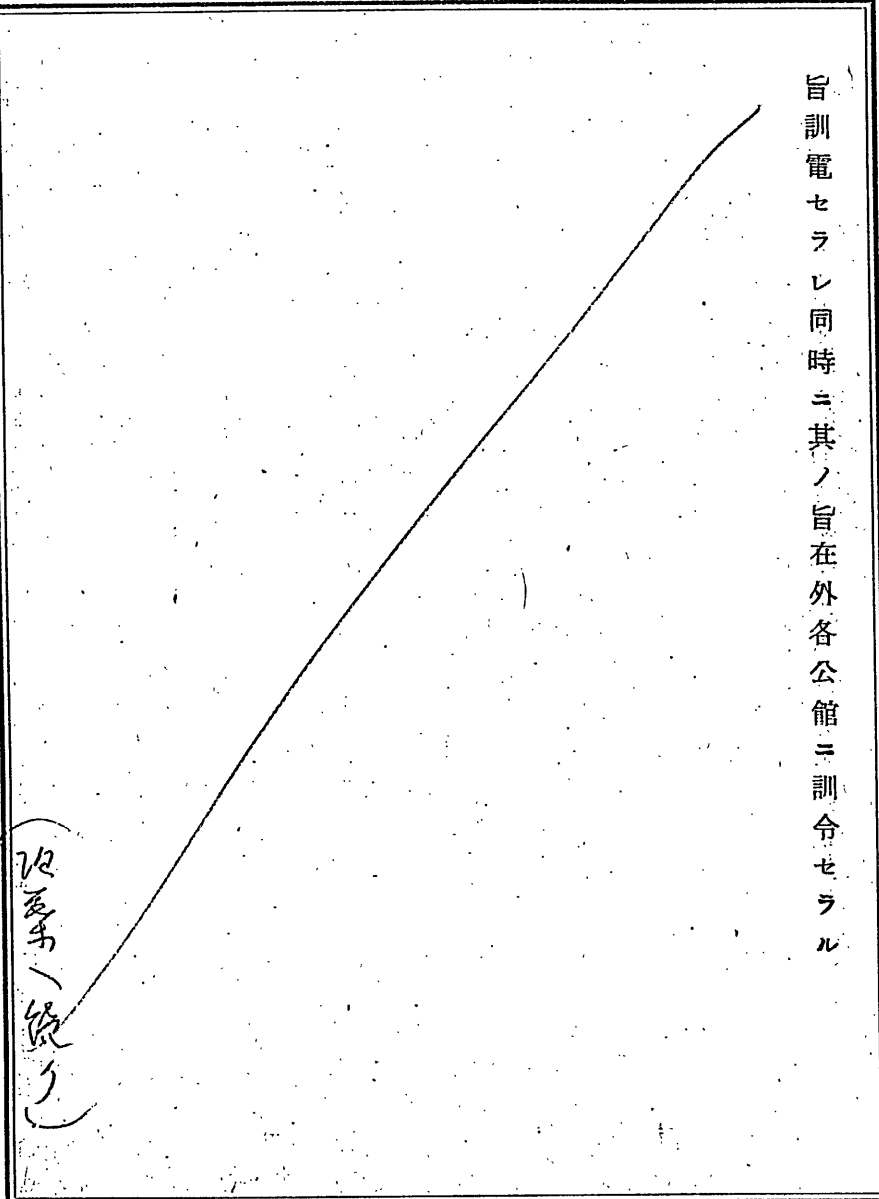
(一)昭和十三年十月七日在歐各館宛歐洲避難民ニ對シテハ

(一)入國査證ハ拒絕スルコト (二)通過査證ハ行先國ノ入國手續ヲ完了シ居リ且二百五十圓以上ノ携帶金ヲ有スル者ニ限り附與差支ナキ

(日本標準規格B5)

外務省

旨訓電セラレ同時ニ其ノ旨在外各公館ニ訓令セララル



(日本標準規格B5)

外務省

改定(後)

(一) 昭和十三年十二月七日在外各公館宛猶太避難民ニ對スル政府ノ方針竝ニ之カ取扱ニ付テハ前掲(一)ノ訓令ニ依リ處理スヘキ旨訓電セラレ

(二) 昭和十五年七月二十三日在歐各館宛本邦經由米大陸行避難民續々渡來スル處之等ノ者ニ對シテハ行先國ノ入國許可手續ヲ完了セシ者テアラサレハ通過査證ヲ與ヘサル様取扱方訓電セラレ

(三) 在「カウナス」領事館ニ對シテハ昭和十五年八月十六日同館査證ノ避難民中ニハ行先國ノ入國手續未済ノ爲又ハ携帶金僅少ノ爲上陸ヲ許可スルヲ得ス之カ處置方ニ困リ居ル事例アルニ付此際避難民ト看做サルヘキ者ニ對シテハ行先國ノ入國手續ヲ完了シ居リ且旅費及本邦滞在費等相當ノ携帶金ヲ有スルニアラサレハ通過査證ヲ與ヘサル様取扱方訓電セラレ

(四) 前掲(四)ノ訓電ニ對シ在「カウナス」領事館ヨリ同地ニハ中南米諸國ノ在外官憲ナキニ付確實ナル紹介者アル者ニ限り浦潮乗船迄ニ

外務省

(日本標準規格B5)

行先國ノ入國許可取付ケ方、乗船豫約方竝ニ携帶金ニ付テハ在外資金ヲ本邦ニ轉送方等ヲ夫々手配スル者ニ對シテハ右實行ヲ條件トシテ通過査證ヲ與ヘ居ルニ付右手續未了ノ者ニ對シテハ浦潮ニ於テ乗船ヲ拒絶スル様致度旨來電アリタルニ付之ニ對シ十五年九月三日同館ニ對シ船會社カ我方ノ通過査證ヲ有スル者ノ乗船ヲ浦潮ニ於テ蘇官憲ノ命令ニ反シテ乗船ヲ拒絶スルコトハ事實不可能ノコトナルノミナラス右ハ我國査證ノ信用ヲ害スルモノナルニ付前電ノ通嚴重取扱アリタキ旨更ニ訓電セラレタリ

外務省
水尾清久

(日本標準規格B5)

(六)昭和十五年九月三十日蘇及在歐各館宛本邦通過歐洲避難民中行先
 國ノ入國手續未了又ハ携帶金僅少ノ者少ナカラサルニ付(一)入國査
 證ハ附與セサル様又(二)通過者ハ必ス行先國ノ入國手續ヲ完了シ居
 リ且目的地ニ至ル間ノ所要船車賃ノ外本邦滞在日數ニ應シ一人一
 日當リ最低二十五圓見當ノ宿泊料金ヲ必要トスルコトニ取扱方訓
 令セララル同時ニ此ノ旨在外各公館宛訓令セララル

(七)昭和十五年十二月十二日蘇及在歐各館宛中米諸國ハ歐洲避難民ニ
 對シ入國許可制ヲ嚴重施行中ニシテ現ニ最近「パナマ」ニ於テ郵
 船ニテ輸送セル同國人國「パナマ」中繼「コスタリカ」、蘭領
 「キュラソウ」「ボンジュラス」「ドゥニカ」「ハイチ」等ノ中米
 諸國行歐洲避難民二十數名ニ對シ何レモ行先國竝ニ「パナマ」領
 事ノ査證アルニ拘ラス關係國政府ノ事前許可ヲ受ケ居ラサル理由
 ノ下ニ下船ヲ拒絕セラレタル事件モアルニ付以後中米諸國行避難
 民ニ付テハ曩ニ訓令ノ携帶金其他ノ條件ヲ備フルノ外(一)凡テ行先

外務省

(日本標準規格B5)

國領事ノ入國査證ト共ニ豫メ行先國政府ノ入國許可ヲ受ケタル確
 證ヲ有スル者(二)又是等避難民ニシテ「パナマ」ニ下船スル者ニ付
 テハ同國領事ノ通過査證ト共ニ豫メ「パナマ」國政府ノ下船許可
 ヲ受ケタル確證ヲ有スル者ニ非サレハ本邦通過査證ヲ與ヘサル様
 取扱方訓電セララル

外務省

此系へ統シ

(日本標準規格B5)

(八) 昭和十六年一月十一日 ^{在蘇大使宛} 駐蘇大使館ヨリ本省宛舊「ラトヴィア」
 及「リニアニア」人ニシテ過去ニ於テ英國官憲ノ移住許可ヲ取付
 ケタルモノ數百名ガ「バレスタイン」ヘ赴ク爲本邦通過査證方運
 動中ノ由ナルモ「バレスタイン」政府ハ此種移民中ニ替玉混入ノ
 虞アル爲再調査ノ上ニ非サレハ入國ヲ許可セサル趣 ^{通報} 付リタル
 事付此ノ旨在蘇大使ニ注意方電報セララル

(九) 昭和十六年二月三日在歐各館宛「ブラジル」國ニ於テハ猶太避難
 民ニ對シ本年一月七日前ニ査證取付濟ノ者ノミ入國又ハ通過ヲ許
 可スルコト下ナリタル旨訓電セララル

(十) 昭和十六年三月十七日蘇及在歐各館宛當分歐洲避難民ニ對シテ通
 過査證ヲ附與スル在外公館ヲ在蘇大使館ニ限定スルコト ^社ニ同館
 ニ於テ査證ヲ與フヘキ者ノ數ハ本省ヨリ訓令スルコトニ取扱方夫
 々訓電セララル

(十一) 昭和十六年三月十九日蘇及浦潮宛昭和十五年十二月二十日以前ニ

(日本標準規格B5)

外務省

歐洲避難民ニ與ヘタル我方通過査證ハ再檢閲ノ上行先入國手續ノ
 完全ナル者ニ對シテハ檢印ヲ施シ右檢印ナキ者ハ本邦船ニ乗船セ
 シメサルコトニ取扱方訓電セララル

(日本標準規格B5)

外務省

次を承へ候

I-0882

三 本邦停滯者ト其ノ滯留事由

以上ノ如ク避難民ノ取扱方ニ付テハ昭和十三年十月以來數次ニ亘リ訓令セララル所アリ違訓ノ査證ナキ限リ本邦ニ停滯者ヲ生スル管ナキモノノ如シト雖モ内務省ノ報告ニ依レハ之等通過避難民ニシテ本邦ニ滯留セル者ノ數昭和十六年三月二十日現在ニ於テ千七百名ニ達シ居レリ(其ノ内譯別表ノ通)其ノ後尙多少増加セルモノノ如シ其ノ理由大体左ノ如シ

(一) 中米諸國及「ハレスタイシ」行ノ如ク我方通過査證附與後行先國ノ入國手續ニ改正アリ行先國領事ノ入國査證アリト雖モ夫レノミニテハ入國シ難ク更ニ行先國政府ノ入國許可ヲ必要トスルニ至リタルモノ

本件ニ付テハ前記訓令(七)(八)ノ通關係公館ニ訓電アリタレトモ夫レ以前ニ於テ査證濟ノモノ相當アリタリト思考セラル

(二) 行先國ノ入國査證ナキモノ

外務省

(日本標準規格 B5)

本事由ハ主トシテ在「カウナス」領事館ノ取扱ヒシモノニ多ク前記訓令(四)及(五)ノ通り同館ニ注意ヲ與ベテレタルモ夫レ以前既ニ査證濟ノモノ多數アリシ如シ、同館ニ於テ通過査證ヲ與ヘン者ノ總數ハ二千百三十二名ナリ

(三) 我方通過査證附與後ニ於テ行先國入國査證ノ各效期間經過ノ爲更ニ手續中ノモノ

米國行ノ如キハ同國入國査證ノ各效期間ハ四ヶ月ニシテ米國手續等ニ時日ヲ要シ遂ニ其ノ期間ヲ經過スルニ至リシ者相當アリ本事由該當者ハ多少時日ハ要スルモ延長許可ヲ獲得スルノ見込アルヘシ

(四) 單ニ一時的船待中ノモノ

↑ 結局就中問題トナルハ前記(一)(二)該當者ナリト認メラル

外務省

(日本標準規格 B5)

I-0882

合計	國籍別				事由別
	獨逸	波蘭	瑞典	諾威	
					入國手續完全ニテ船待中ノ者
七	一	一	三	三	入國査證アル者
四七		二	二	二	入國査證ナキ者
四一	一	一	三	二	合計
九五	一	二	六	二	計

歐洲避難民滯留者

三月二十七日現在

神奈川縣

外務省

(II 本標準規格 B5)

合計	國籍別				先行先國
	波蘭	獨逸	チエッコ	リスアニア	
					北米
一三二	八〇	四一	二	三	蘭
一一五	一〇七	五七	四	三	領
九四	四九	三五	一	七	中南米
四七	三九	二	一	六	パレスチン
四七	二三	一七	一	七	其他
八六	八六	一	一	一	入國査證ナク先行不明
一五五	一三	一五	三	一	合計
一五九	一五	二	六	三	計

歐洲避難民滯留者

三月二十日現在

兵庫縣

外務省

(II 本標準規格 B5)

松

I-0882

寫

會計、調度、勞調各課、伯林、紐育、桑港、羅府、沙市
東發、橫濱、上海、關係各船

神客米第三〇號

船客

社長 御中

神戸支店長

(船客課)

高橋 雄

昭和十六年四月十八日

一、猶太人船客輸送状態ノ件

右ニ關シ昭和十五年十一月二十二日附弊翰神客米第八三號及昭和十六年四月九日附弊翰神客米第二六號夫々御參照被成下度、神客米第八三號ニテ御報告申上タル當時即チ昨年十一月ノ交ニハ歐洲ヨリ避難ノ猶太人船客ノ輸送モ北南米行査證取得困難ノ爲メ一時停頓、引續キ低調ヲ保チ居タルガ去ル三月二十五日出帆第二三次往航鎌倉丸ヨリ俄然活況ヲ呈シ來リ在歐日本領事ノ査證一時停止ノ悲觀材料アルモ

電話九ノ内(23) 代表番號 三五二一 三五三二 三五三三 三五三四 留直常用
市九ノ内 日本郵船株式會社

電話九ノ内(23) 代表番號 三五二一 三五三二 三五三三 三五三四 留直常用
市九ノ内 日本郵船株式會社

№ 3

一、査證停止前ニ第三國査證ヲモ得テ發足濟ノ者
二、停止後、第三國査證ヲ取得、例外的ニ本邦通過査證ヲ得タル少數ノ者(縣外事課ノ談ニ依レバ僅少乍ラ其後ト雖事實發給シ居ル模様ナリト)
三、從來ノ滯邦者ニテ米國行査證ヲ新ニ取得シタル者(元名古屋領事ハ當地米國領事應援ノ爲メ東京大使館ヨリ特ニ當地ニ派遣サレ、査證ノ交附増加ニ努ムルコトナリタリ)
等尋リ、昨今ノ趨勢ヨリ觀レバ縣外事課、協會、クツク社等ノ意見ヲ綜合シテモ且先頃ニ好轉ノ兆アリ
尤モ猶太人ノ移動状態ハ軌近ノ國際情勢ニモ似テ複雑微妙ナ諸種ノ事情ニ不絶支配サルルモノ故速斷ハ出來難キモ地方的ニ觀テ確ニ冬眠ヨリ脱シタルモノト云ヒ得ベシ
左ニ前使神客米第二六號末文ニ申述べタル數字の方面ヲ概報可申上、
一、太平洋航路引受狀況

2

(660 1-10)

(660 1-10)

I-0882

電話九ノ内(23) 代表番號二五二一四二五三二(一) 寄附號用
東京市丸ノ内 日本郵船株式會社

昨年十一月二十二日報告以後ノ出帆船ニ付總括的ニ之ヲ觀レバ當時ヨリ二月末ニカケテハ中弛ミノ傾向アリシガ三月四日出帆第六六次往航龍田丸ヨリ漸ク回生ノ曙光觀ハレ三月二十五日出帆第一三次往航鎌倉丸、四月二日出帆第六九次往航平安丸兩船ニハ總數夫々六六人、六八、半人ニ及ビ四月八日第四次往航八幡丸ニ至ル總計ハ三一七人運賃邦貨貳拾壹万圓ニ達セリ

一、渡航指圖書所持者

伯林、漢堡及ストツクホルム扱ノ渡航指圖書所持ノ船客ハ昨年十一月十七日出帆第六八次往航日枝丸ニハ尙九十月ノ最盛期ノ餘喘ヲ保チ三二人乗船ヲ見タルモ其後査證取得ノ困難ハ容易ニ渡航指圖書ノ發行ヲ許サザリシモノカ微々タル出廻ヲ續ケ居リシガコレ又四月二日出帆第六九次往航平安丸ニ至リ急ニ活氣ヲ帶ビソノ數五六、半ニ及ベリ、惟フニ北米入國査證發給ガ在米協會ノ活動ト在邦米國領事ノ協力ト相俟テ除々ニ進捗シ居ルモノナラン

(660 1-16)

電話九ノ内(23) 代表番號二五二一四二五三二(一) 寄附號用
東京市丸ノ内 日本郵船株式會社

一、クツク扱

紐育ニテ入金シ當地ニテ切符發行ノ方法ヲ採リ居ルトイマス・クツク社扱ハ其後春日遅々タル觀アリシガ三月二十五日出帆第一三次往航鎌倉丸ニハ遂ニ總數五六人ニ對シ今後共相當量ノ船客出廻リヲ豫想セララル由ナリ

一、濠洲、印度方面行

一時、北、南米入國査證取得困難ノ爲メカ濠洲、印度へ難ヲ避クルヤニ見ラレタルモノアリシモ結局ハ全方面モ査證取得困難ノ爲メ昨年十一月二十二日出帆第三〇次往航安洋丸ニ一五人ヲ算シタルコトアリシモ現在迄ノ總數四四人ニ達シタルニ過ギズ

一、國籍別

是等猶太人ヲ國籍別ニ觀ル時ハ獨逸系最モ多クポーランド系ハ之ニ次ギ其他ハ寥々タルモノナリ從來ハ殆ンド獨逸系ナリシ處今年ニ至リポーランド系殺到シ一部出國セルモノモアルモ其大部分ハ

(660 1-16)

I-0882

電話九ノ内(23) 代表番號二五二二四二五三二(宿直兼用)
京市九ノ内 日本郵船株式會社

無査證ニテ入國セルモノニテ全國系滯邦者數實ニ一四二九人ニ及
ブ

一、現在神戸在留數

當地猶太人協會ヨリ入手セル統計ニ依レバ今年二月末迄ニ入國シ
タルモノハ殆ンド已ニ出國、現在滯在中ノモノ四八九人、内三六
九人ハポーランド系ナリ

三月中ニ就キ之ヲ觀レバ入國者八〇五人ノ中出國者僅カニ一八二
人ニテ大部分ハ滯在中ト見ラレ三月末ニ於ル總數實ニ一六三七人
ヲ算スルニ至リタリ(此ノ數前便ニテ申上タル外事課調ト齟齬ス
ルモ變轉常無キ移動狀態ヨリ觀テ可不已得)四月十五日現在滯神
者ハ一六〇一人ト云フ

一、紐育、倫敦ニテ取立濟運賃

最近迄ニ當方入手セル紐育其他ヨリノ運賃入金電報ハ机上ニ山積
シ實ニ三四五人分(内一五〇人位已ニ在神)米貨貳万五千九百弗

Mis 3

5

(660-1-16)

電話九ノ内(23) 代表番號二五二二四二五三二(宿直兼用)
京市九ノ内 日本郵船株式會社

ニ上リ右ノ内事實渡航セルモノハ僅カニ六チ數ブルノミナルモ、
是等猶太人モ前陳ノ次第ニテ査證取得ト全時ニ除々ニ出國ノ運ビ
トナルモノト想ハル

尙右ニ關スル詳細ニツイテハ同封一覽表ニヨリ御高承被成下度
以 上

Mis 3

6 止

(660-1-16)

I-0882

郵政省第一課

(分類)

13031

電 信 案	第 四 〇 一 號	電送第 12000 號	主管 栗利加農
		昭和十六年八月十九日 時 〇 分 發	主任 第三課長
外 務 省	從 覽 第 二 八 三 號 之 附 シ	件名 在 蘇 連川大使	昭和十六年八月十九日 起 算
		件名 歐洲祖國民ノ査治取 扱手續ニ関スル件	
第二項ノ査治申請者教員ノ履歷書		記録件名	
添付申請者ノ其ノ教員履歷了スル			

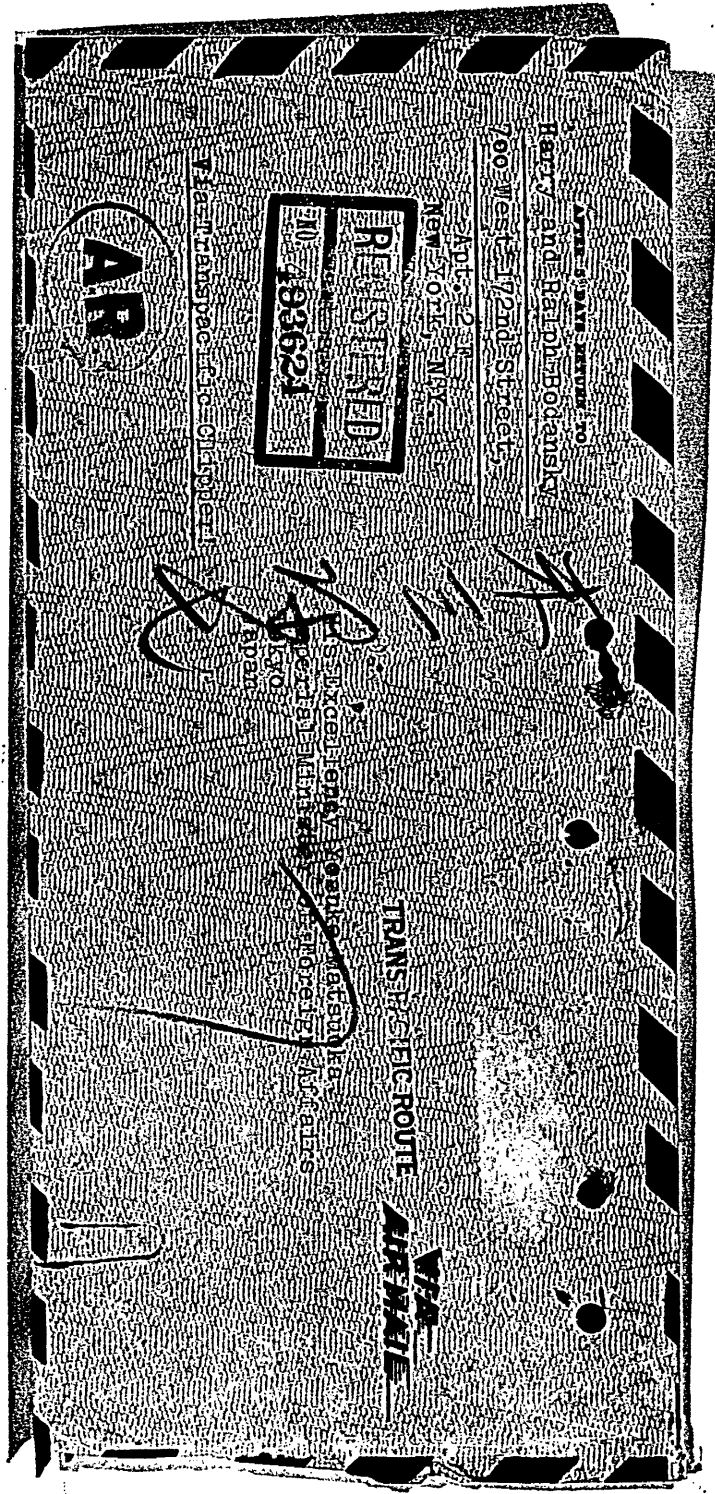
電信課長

發電係

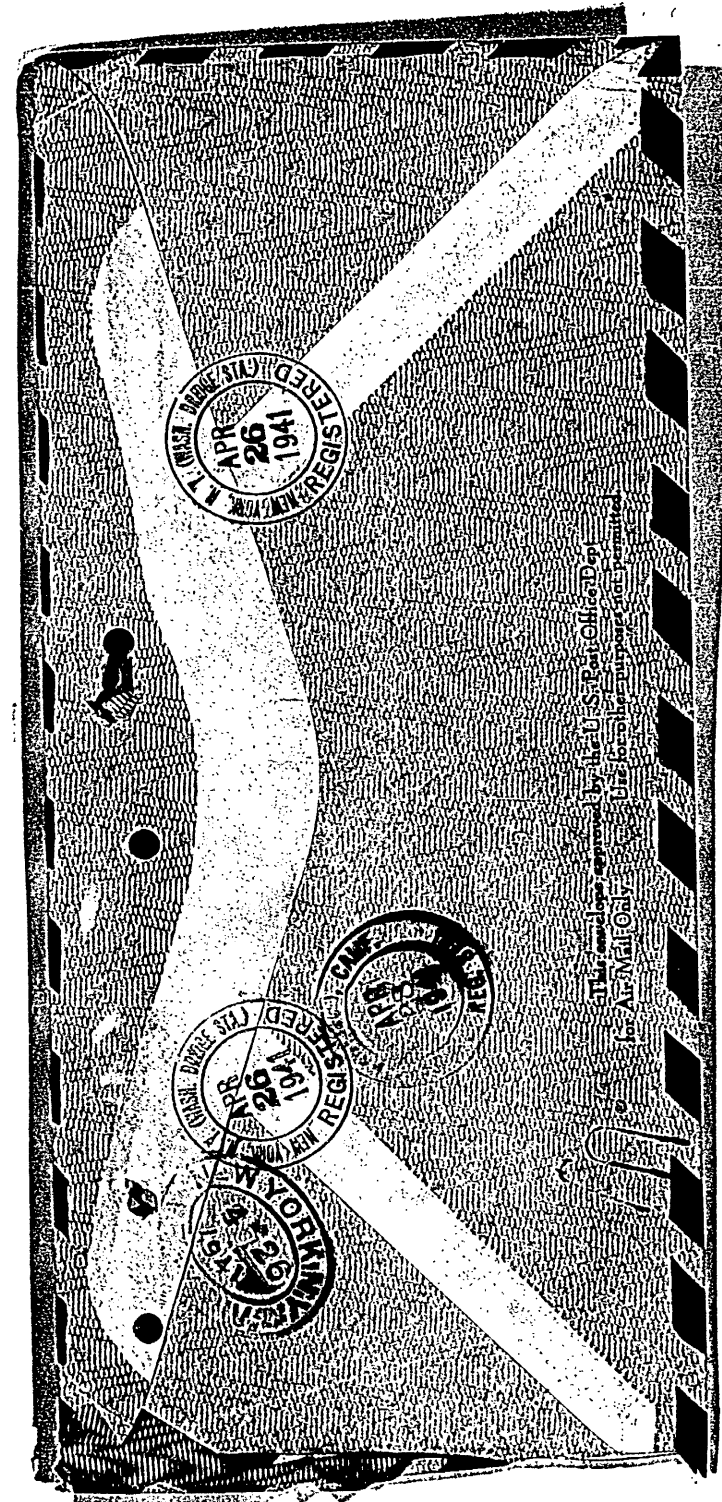
18 84

(日本標準規格)

I-0882



I-0882



I-0882

Werter Herr!

Die japanische Gesandtschaft teilt Ihnen mit, dass sie soeben ein neues Buch über Mandschukuo erhalten hat und falls Sie Interesse daran hätten, könnten Sie dieses an Wochentagen zwischen 10 - 1 Uhr bei der Gesandtschaft, Wien III., Kôlblgasse 1 besichtigen.

Wien, den 6. Oktober 1937.


Abfender:
KASIMIR WILSON

Postkarte

Herrn
Harry Bodansky

WIEN III.,
Fasangasse 49. A.


27



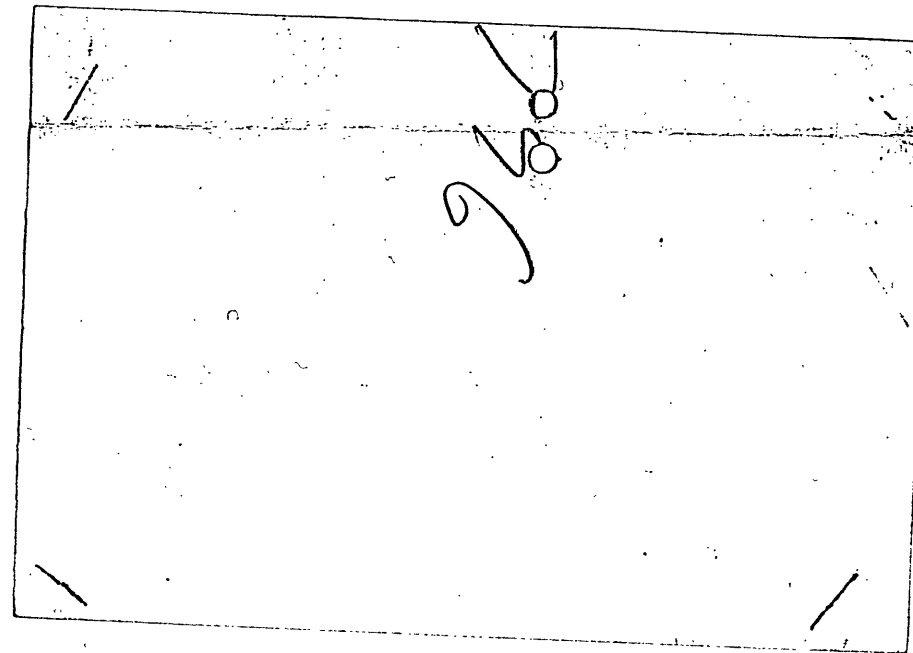
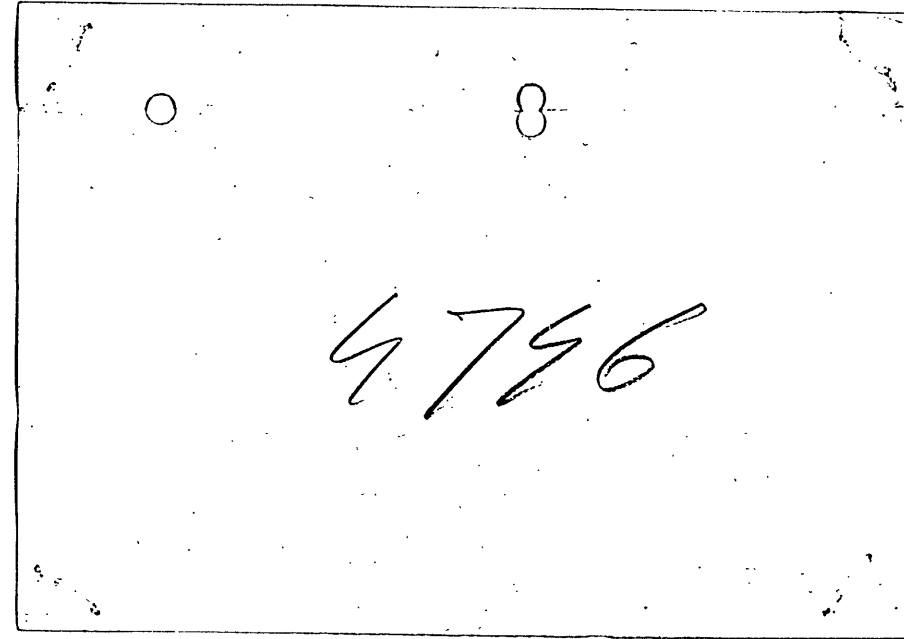
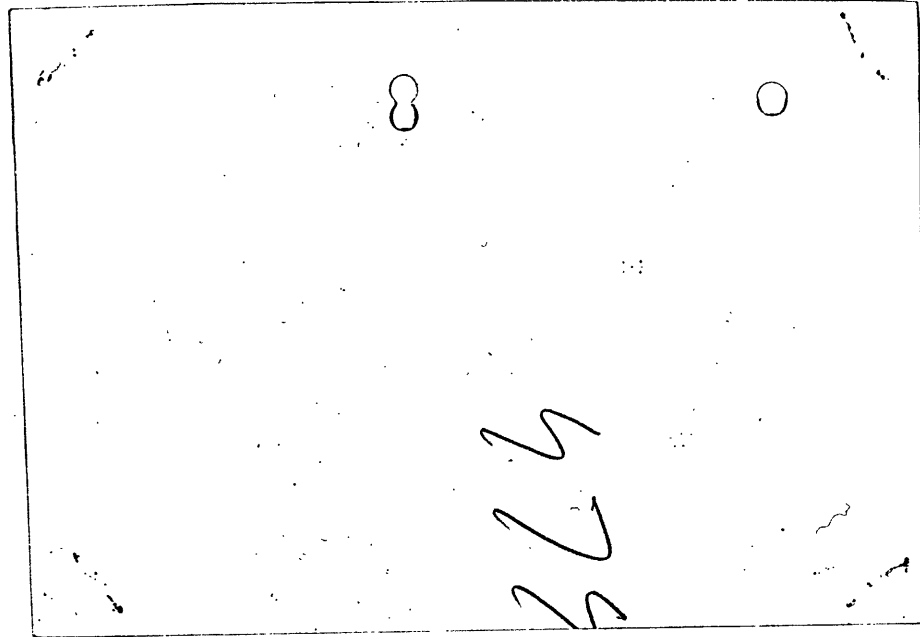
Herrn
Harry Bodansky
Wien.

In Antwort auf Ihres Schreibens vom 12. ds. teilt Ihnen die japanische Gesandtschaft mit, dass Sie an Wochentagen zwischen 10 und 13 Uhr im Büro der japanischen Gesandtschaft, Wien III., Kôlblgasse 1 bei Herrn Wlodek den "Mandchukuo Year Book 1934" und in der Zeitschrift "Manchuria" die gewünschten Daten sehen können.

Wien, den 11. September 1937.



I-0882



I-0882



HARRY and RALPH BODANSKY
700 West 172nd Street
New York City

April 26th, 1941.

His Excellency
Yosuke Matsuoka,
Imperial Minister of Foreign Affairs.
Tokyo, Japan

Your Excellency:

This letter is being written by two young brothers on behalf of their parents who still live in Vienna, Germany. We have come to this country three years ago, and now are anxious to be united again with our family.

Word recently received here from Vienna says that our parents had received American immigration visas in March and were supposed to come here via Japan on a steamship which was scheduled to leave Kobe (Japan) on April 14th. Two days before their departure from Vienna they were informed by the Japanese consul there that transit visas through Japan would not be issued. Our parents, therefore, could not make the ship which sailed on April 14th for the United States.

Since the American visas will expire on July 10th of this year we take the liberty of asking you to kindly instruct the Imperial Government's representative in Vienna to issue transit visas to our parents:

Hugo and Else Bodansky
3/5 Fugbachgasse
Vienna II, Germany

so that they may join us over here at the earliest date. We know how much attention is paid by the Japanese nation to family life. We trust that you will understand and appreciate our desire to live again together with our beloved people.

We offer you all assurances that our parents will not remain in Japan, but immediately proceed to the United States. For their stay in Japan we assume all financial responsibilities. All they need to be united with us is the permission of your country to let them pass through it.

- 2 -

We gratefully remember the prompt assistance and kind cooperation of the former Imperial Japanese Legation in Vienna at the time when one of the writers pursued studies on the then newly created state of Manchoukuo. As proof thereof we are enclosing photo-stats of correspondence received in this connection. We express our firm belief that you will be able to kindly comply with our request and expedite an early reunion with our parents.

Any expenses that may be incurred by you (cable advice to Vienna, etc.) will be immediately refunded and deposited with the Japanese Consulate General, 630 Fifth Avenue, New York City.

Asking you to kindly decide in favor of our parents we remain,

Respectfully yours,

Harry & Ralph Bodansky
Harry and Ralph Bodansky

ENC:

I-0882

應米利加局長

第三課



外發秘第七六五號

昭和十六年四月十八日

軍兵庫縣知事坂

千秋

內務大臣 平沼 騏 郎 殿

臨時外務大臣事務管理近 衛文 磨 殿

警視庁 北海 道 神奈川 大阪 長崎 福岡 山口 福井 京都 愛知 靜岡 滋賀 奈良 和歌山 三重 四日市 石川 福井 新潟 富山 青森 大分 熊本 鹿兒島 各 府 縣 長 官 殿

朝鮮 總督 府 警務 局長 殿

關 東 州 府 警務 局長 殿

在 上 海 內 務 書 務 官 殿

在 哈 市 內 務 書 務 官 殿

在 哈 市 內 務 書 務 官 殿

避難猶太人一齊調査閉ル件

對號(本年三月三十一日)外發秘第六二〇號(本課)

避難猶太人退却ニ關シテハ對號既報ニ通シテ神戶猶太人協會ヲ督勵難意之

カ違拂ヲ企圖シツ、アルガ最近新現入國者減テ一方目的の國入調査証ヲ取得者逐次増加シ局面稍好轉ノ傾向アルモ滯留者中既ニ目的の國ノ査証ヲ取得シ退却可能ナル者又ハ目的の國入調査証取得困難ニシテ退却ノ見込ナキ者ニシテ滯留許可期限内ナリトノ理由ノ下ニ漫然滯留シ若ハ滯留許可期限經過セルニ不拘何等更新ノ手續ヲ履踐セズ不法ニ滯留スル者等ナキヤ保シ難キヲ以テ之ガ事實ヲ調査シ個々ニ就キ退却ヲ督勵スルハ本向八日ヨリ今日十四日迄、向滯留避難猶太人一斉調査ヲ為スニ其ノ情況左記ノ通りニ有テテ想ヒルガ如キ不都合ニ着テ發見セズ比較的好成績ヲ收メ居リ且本邦駐在米國大使館ニ於テ、神戶猶太人協會並ニ一般避難猶太人ノ要望ニ應ヘ避難猶太人ノ査証事務違拂ノ意向ノ下ニ神戶駐在米國領事館ニ副領事一名ヲ特派セルニ決定本月二十一日公大使館員副領事キヤールスエウナステアンガ赴任査証事務ニ專從スル筈ニシテ將來全國査証事務ノ能率化ヲ期待シ得ヘク從テ從前ノ如ク一時ニ多敷ノ避難猶太人殺到セザル限リ避難猶太人ノ退却ハ順調ニ措置シ得ルモト思惟候条

此致及申(通過)候也
建前當局ニ於テハ避難猶太人ノ取締ノ完壁ヲ期スル目的ヲ以テ神戶猶太人協會ヲ通シテ別紙指示事項ヲ嚴達シ(各合宿所ニ英露文ニ

別紙

一 避難猶太人現在調 (四月八日現在)

性別	国籍	和蘭	和蘭
男	獨逸	六五	一六
女	波蘭	三九	一四
合計		一〇四	三〇
		一三三	二一
		三	三
		二	一
		一	一
		六	三
		二	一
		一五六	三六
		一九二	二六

二 査証取得状況 (四月八日現在)

国籍	査証取得完了	可	未	中	取得困難	計
米	七六	七五	九	一七	二	一四〇
パレスダイン	四七	一三	八	四	一	二七四
加奈陀		二	五	八	一	一四
メキシコ	四					六
アルゼンチン	六					六
ブラジル						七
チリ	四					四
ボリビヤ	四					四
ウルガイ	二					二

国籍	合計	査証取得完了	可	未	中	取得困難	計
バネズ	一						一
ハラガイ	一						一
ドミニカ	五						五
ホンジュラス	一						一
ニカラガ	六						六
キューバ	二						二
セントミンゴ	五						五
佛領マルチニク	四						四
英							二
ビルマ							二
濠洲	二						二
英領アフリカ	二						二
泰	五						五
上海	六						六
比島	二						二
蘭領モリタ	八						八
合計	一八四	九六	九	二	三〇	一七九	一五六

3. 宿泊状況（其他寄宿）

止宿先	國籍
神戸市神戸正山平 道二百四十六 他九十六戸	留逸 波蘭 ロシア 左ツコ ルーマニヤ ハンガリ ボリビヤ ニカラ 和蘭
二 一 二 二 二 一 一 一 一 一 一	計
二九三	

4. 宿泊状況（合計）

止宿先	國籍	留逸	波蘭	ロシア	左ツコ	ルーマニヤ	ハンガリ	ボリビヤ	ニカラ	和蘭	計
神戸市神戸正山平 道二百四十六 他九十六戸	留逸 波蘭 ロシア 左ツコ ルーマニヤ ハンガリ ボリビヤ ニカラ 和蘭	二 一 二 二 二 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	二九三

避難猶太人遵守事項

避難猶太人ハ左記事項ヲ嚴シク遵守スベシ 違反者ハ送還其ノ他嚴重ナル處分ニ付スベシ

記

- 一 傳染病予防ニ留意シ總テ罹病者ハ早期ニ医師ノ診療ヲ受クベシ
- 二 風紀ヲ維持刷新ニ努メ婦女ニ對シ斷ジテ不都合ナキヲ期スベシ
- 三 火ノ元ニ注意ヲ拂ヒ火災ノ發生ヲ防止スベシ
- 四 神戸市以外ニ旅行セントスル者ハ神戸猶太人協會ヲ至テ縣外事課ニ願出テ許可ヲ受クベシ
- 五 目的ナクシテ外出シ市内ヲ徘徊スルガ如キコト無ク各宿所ニ於テ休養スベシ
- 六 購入ノ意思ナキニ不抱商店ニ購集スルガ如キコトナク且ツ商品ハ迅速ニ購入退店スベシ

其、他日本人感情ヲ刺激スルガ如キ言動ハ嚴ニ慎ムベシ。

八、各分府所ニ於テ、責任者一知ヲ選定シ、分府所員、自身關係ニ就キ、其ノ責ニ任シ、當道員ニ知以上ヲ設ケ、風紀衛生其他、取締ニ任スベシ。

九、ホテ、其、他、止宿スル者ハ、定地域ヲ劃シ、隣保班ヲ設ケ、前項ニ準ジ、責任者及當道員ヲ選定シ、風紀衛生其他、取締ニ任スベシ。

一〇、各府所並ニ隣保班責任者ハ、神戸猶太人協會ヲ經テ、縣外事課ニ届出スベシ、責任者ニ変更アリタル場合亦全シ。

昭和十六年三月

兵庫縣

別紙

性別	一 避難猶太人現在調 (四月八日現在)		二 査証取得状況 (四月八日現在)		計
	男	女	査証完了	未定	
合計	一〇、四一三	三、九三三	三〇	二一	一五、六一六
男	六、五二〇	一、六一六	一六	三	八、一三九
女	三、九三三	一、四一六	一四	一	五、二六六
合計	一〇、四一三	三、九三三	三〇	二一	一五、六一六
米 國	七六	七五九	一七二	一三三	一、一四〇
パレスダイン	四七	一三八	四八	四一	二七四
加 奈 陀		二五		二	二七
メキシコ	四	一			六
アルペンナン	六	八			一四
ブラジル		五	一		六
チリ	四	三			七
ボリビヤ	四				四
ウルガイ	二				二
ベネズエラ		一			一
パラガイ	一				一
ドミニカ	五				五
ホンジュラス	一				一
ニカラガ	六				六
ギロトバ	二				二
セントミンゴ	五				五
佛領マダニク	四				四
英 國		二			二
ポ ー 蘭		二	四	一	七
露 洲	二	六	二		一〇
英領アフリカ	二	六			八
泰 國	五				五
上 海	六				六
比 島	二				二
蘭領モロッコ	一八四	九六九	二三〇	一七九	一、五六二
合計	一〇、四一三	三、九三三	三〇	二一	一五、六一六

I-0882

四日宿泊状況（台宿）（四月八日現在）

合宿所	國	籍	獨	逸	波	蘭	リスワニ	チエツコ	和	蘭	ルマニヤ	合
神戸市神戶区中山			一三			五	五	三				二六
通二丁目五ノ七												
神戸市神戶区山本			六			二	二					三一
通三丁目七五ノ七												
神戸市神戶区山本			一									四四
通一丁目四ノ四												
神戸市神戶区山本			九			四〇		二				五一
通二丁目四四												
神戸市神戶区北野						四六						四六
町一丁目八五ノ一												
神戸市神戶区北野			二			四五						四七
町四丁目一四四												
神戸市神戶区北野						二八						二八
一丁目八五ノ二												
神戸市神戶区北野						三四						三四
町八五ノ四												
神戸市神戶区神仙			四			四〇						四四
通二丁目三三七												
神戸市神戶区中島												
通三丁目三三四												
神戸市神戶区草合区野						二四						二四
通二丁目五三六ノ四												
神戸市神戶区草合区能代						六四						六四
町五丁目一ノ一												
神戸市神戶区草合区能代						四六						四六
町五丁目三												
神戸市神戶区草合区能代						三九						三九
町四丁目五三六ノ三												
神戸市神戶区草合区能代						九六						九六
町三丁目一七												
神戸市神戶区草合区能代						一〇一						一〇一
町三丁目一八												
神戸市神戶区草合区能代						二七						二七
本町二丁目												
神戸市神戶区草合区能代						四五						四五
筋一丁目六〇六ノ二八〇												
神戸市神戶区草合区能代						六八						六八
通四丁目一三												
神戸市神戶区草合区能代						二〇						二〇
本町一丁目八四												
神戸市神戶区草合区能代						二一						二一
三丁目一一一ノ一												
神戸市神戶区草合区能代						九九						九九
三丁目一一一ノ一												
合計			四三			九九	六	七	二	三		一〇一

I-0882

List of German Refugees in Yokohama on April 1st 1941

Name	Nation	Age	Profess.	Arrival date	place	Visa	left	pres.address
1. BACH Erwin	German	62	Manuf.of	22.12.40	Shim.	USA		Y.M.C.A.
2. BACH Gertrud	"	49	bedlinen	"	"	"		"
3. BERLINER Ludwig	"	52	Nat.Oecon.	21.10.40	"	ECUADOR		Y.M.G.A.
4. BRACH Robert	"	52	Malt Man.	13. 1.41.	Tsur.	USA		valid <i>valid under visa</i> Grand
5. BRACH Stefanie	"	52	--	"	"	"		"
6. FEINTUCH Benno	"	44	Merchant	24.12.40	Shim.	"		Y.M.C.A.
7. HASE Jacob	"	63	"	29.12.40	"	Domingo		<i>getting U.S. visa</i>
8. HAASE Regina	"	59	--	"	"	"		"
9. HERZFELD Felix	"	49	Banker	13. 1.41.	"	USA		Centre Hote
10. HERZFELD Elsa	"	39	--	"	"	"		"
11. HOBBS Gladys	"	50	--	"	"	"		"
12. ISSNER Jacob	"	60	Merchant	26.12.40	"	Domingo		"
13. ISSNER Henriette	"	56	--	"	"	"		"
14. JACOBY Kurt	"	48	Bookdealer	28.12.40	"	USA		"
15. JACOBY Agnes	"	37	--	"	"	"		"
16. KOSAK Alma	"	56	--	21. 1.41	"	Guatemala		<i>got U.S. visa</i>
17. LOEPERT Magarete	"	47	--	8. 2.41	"	USA		Centre Hotel
18. LENKERSHEINER Jul	"	51	MERCHANT	23.12.40	"	<i>will get U.S. visa</i>		Y.M.C.A.
19. NEUMANN Heinrich	Sved.	47	Furrier	15.12.40	Tsur.	Ecuador		Bund Hotel
20. NEUMANN Fanny	Alien	54	--	"	"	"		"
21. TTE Richard	German	54	Engineer	25.11.40	"	USA		<i>getting U.S. visa</i> Centre Hotel
22. WFCZES Rudolf	"	47	Manufact.	24.12.40	Kobe	"		New Grand
23. ROSENBERG Paula	"	63	--	21. 1.41.	Shim.	"		Centre Hotel
24. SCHREINER Hans	"	40	Moborist	8. 1.41.	"	Ecuador		Y.M.C.A.
25. SONDHEIMER Moritz	"	46	Manufact.	17. 3.41.	Tsur.	USA		Centre
26. SONDHEIMER Setty	"	43	--	"	"	"		"
27. SONDHEIMER Hanni	"	17	--	"	"	"		"
28. SONDHEIMER Karl	"	15	--	"	"	"		"

o. quite says visa can be arranged

I-0882

外機密

昭和16 一〇六一三

(暗)

莫斯科 四月十九日後發 米
本省 二十日前着

近衛外務大臣

建川大使

第四九一號

貴電第四〇一號ニ關シ(歐洲避難民ノ査證取扱方ノ件)

毎日電信又ハ書信ニテ申請シ來ルモノ七、八通アルモ之等ハ「カ
ウナス」其ノ他舊波蘭ニ居ルモノニシテ所定ノ條件ヲ具備スルヤ
否ヤ出頭セサル限り判斷シ難ク出頭セシムルニ付テハ蘇側ハ長期
滞在及數度ノ出入ヲ許サス其ノ實行不可能ナルハ往電第三三四號
ノ通り新取扱決定ハ實情ニ即セサルモノニシテ當館トシテハ中南
米又ハ目的地ノ出先官憲ノ査證ヲ其ノ儘有效トシテ通過ヲ許ササ

電信寫

ル限り寧ロ之等ノ申請ヲ黙殺スルコトカ本邦及蘇側ニ對スル問題
ヲ鮮クスルモノトシテ處理シ從テ電報シ得サル次第ナリ(了)

外機密

昭和16 一 一六 一四 暗 浦潮 四月三十日 前發 歐

本省 五月 一日 前着

松岡外務大臣 根井總領事代理

第一四六號

三十日ヨリ當地ニ滞留シ居タル猶太避難民ノ大部分約五十名ハ上海市參事會ノ同地行許可ヲ取付ケ蘇聯貨物船ニテ二十六日當地發

直接上海ニ向ヘリ御參考迄

蘇へ轉電セリ

電信寫

上海電報

印

印

I-0882

編者附言	原稿ハ
分類	子
項目	子
目録	子
シリアル	子

分類 I 4.6.0.1-2

昭和16 一六〇一 略 ソフイヤ 四月三十日後發
本 省 五月 一日前着 泉代理公使

松岡外務大臣
第七三號 (依頼報)

勃牙利國籍猶太人「ヨシフ、コヌオ」(輸出入貿易商)ハ妻「ウエヌチャ」及子供「エリオ」同伴商用ノ爲米國へ赴ク趣ヲ以テ本邦通過査證賦與方願出テタル處同人ハ本邦商社(在横濱野崎、在神戸増井、在名古屋官本物産在京都本)ト取引關係アリ(證據書類提示)通過ニ際シ之等商社ト商談ノ爲一ヶ月ノ本邦滞在期間賦與方伴セテ願出テタリ

同人等ノ米國入國ハ移民査證ナルモ一般避難民トハ認め難ク且容疑ノ點無シト認メラルル處同人等ニ對シ一ヶ月本邦滞在條件附ニテ通過査證發給差支無キヤ御回電請フ(了)

(返信料三四法五四山前納)

9460-3 2471

外務省

(分類)

電信案	第 六 號	電送第 13114 號	主管 乘利加員長
外務省	在漢堡	昭和 16. 4. 19 時 分發	主任 第三課長 (數田)
	貴賓第六號ニ關シ	名 獨逸人「ルナ」夫妻、本邦	發 外務大臣
	本邦新訓令前許の決定ハ先方ハモリ旨通知	件 通過査證方ノ件	昭和三十七年 四月 廿九 日 起 草
	濟ノモノナク、査證ヲ與ヘラレタリ	記録件名	小坂 發電係

(日本標準規格B0)

I-0882

外機密

電信課長 諭

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文化 調查 人典 儀典 文書 會計 會社 祕書官

寫送先

(分類) 46.01-2

記録

民族問題 手帳 備付 蘇大 人向 野

昭和16 一一六一四 暗 浦潮 四月三十日前發 本省 五月一日前着 歐

松岡外務大臣 根井總領事代理

第一四六號

三十日ヨリ當地ニ滯留シ居タル猶太避難民ノ大部分約五十名ハ上海市參事會ノ同地行許可ヲ取付ケ蘇聯貨物船ニテ二十六日當地發直接上海ニ向ヘリ御參考迄 蘇へ轉電セリ

外務省

S 9460-3 2472

I-0882

新聞第三編

電話九ノ内(23) 代表番號 二五二一 二五三二 宿正兼用
東京市九ノ内 日本郵船株式會社

外務省 亞米利加局

才三課 土居 萬 電 存

船客課 米 國 係

井上 嘉 藏

五月三日

拜啓
過日の種々不手致を煩ひ承りて難有うございませぬ。不慮存の大

御多謝を承りました。

この節、不慮申上げました猶太人避難民衆に關する當社神ト支

店の報告書等正同封部にて、即高覽下しませ。報告書の

生管上、内容の奥に於て外務当局に提出するものカシヒラと御下
指下、議論の節分もございませぬ。非公試に、お目にかけるとございませぬ。
即誌先、下しませ。

横濱のオに付し、この種の報告を、録りいれ、ございませぬ。横濱の猶太人校

電話九ノ内(23) 代表番號 二五二一 二五三二 宿正兼用
東京市九ノ内 日本郵船株式會社

前合の専らトイン系の、陣中、の、取扱、の、現下の肉體に

は、直接、肉體、の、災、も、ございませぬ。詳し、報告、を、寄、り、居、り、ませぬ。

終、一、歐洲、難、民、に、對、する、米、國、政、府、の、態、度、が、大、分、積、極、的、に、な、る、こ、と、未

だ、居、り、ませぬ。今、日、現、在、難、民、に、對、する、米、國、政、府、の、態、度、が、大、分、積、極、的、に、な、る、こ、と、未

猶太人運送の六才、一、日、も、早、く、郵、船、の、各、席、に、し、り、居、り、ませぬ。吾

か、國、の、め、と、存、じ、ませぬ。ト、イン、に、對、する、運、送、難、民、の、止、め、の、め、之、が、今

の、外、向、か、つ、と、な、る、こ、と、い、は、せ、ませぬ。弱、く、居、り、ませぬ。お、お、と、い、は、せ、ませぬ。

の、外、向、か、つ、と、な、る、こ、と、い、は、せ、ませぬ。弱、く、居、り、ませぬ。お、お、と、い、は、せ、ませぬ。

の、外、向、か、つ、と、な、る、こ、と、い、は、せ、ませぬ。弱、く、居、り、ませぬ。お、お、と、い、は、せ、ませぬ。

の、外、向、か、つ、と、な、る、こ、と、い、は、せ、ませぬ。弱、く、居、り、ませぬ。お、お、と、い、は、せ、ませぬ。

の、外、向、か、つ、と、な、る、こ、と、い、は、せ、ませぬ。弱、く、居、り、ませぬ。お、お、と、い、は、せ、ませぬ。

の、外、向、か、つ、と、な、る、こ、と、い、は、せ、ませぬ。弱、く、居、り、ませぬ。お、お、と、い、は、せ、ませぬ。

Mls 1

Mls 1

Printed in Japan

Printed in Japan

(1000 1-16)

(1000 1-16)

4276

I-0882

I-0882

THE JEWISH COMMUNITY OF KOBE (ASHKENAZIM)
COMMITTEE FOR ASSISTANCE TO REFUGEES.

No. 6, YAMAMOTO-DORI, 1-CRONE.

Shenitrahim,

Kobe, Japan April 30th 1941

Enclosure to letter No. 1468/41
to Dr. Kotsuji, Kamakura

1941

神戸犹太協會
シベリア難民救済委員会

CABLE ADDRESS: "JEWCOM" KOBE
NON. PRESIDENT
S. EVANS
PRESIDENT.
A. G. PONEVJSKY
BOARD OF DIRECTORS:
L. S. GUTERMAN
L. B. HANIN
B. D. KANTOR
M. M. KOINERT
S. S. POLIDOMY
A. M. TRIGUBOFF

HONORARY TREASURER:
H. A. MAIZELS
HONORARY SECRETARY:
THEO. N. SHAPIRO

Names of three refugees stranded in Vladivostok

Krupnik Avram
 Geverz Salome
 Shereshevsky Taiba
 Edward Silberstein
 Rite — " —
 (1941)

神戸犹太協會

MAGYAR KIRÁLYI KÖVETSÉG
LÉGATION ROYALE DE HONGRIE

TOKIO.....

292/1941

La Légation Royale de Hongrie présente ses compliments au Ministère Impérial des Affaires Étrangères et a l'honneur de Le prier de bien vouloir autoriser la Légation Impérial du Japon à Budapest de viser en transit le passeport de Monsieur et Madame Robert BANK qui désirent se rendre aux États-Unis d'Amérique. Ils ont le visa d'entrée pour l'Amérique et le visa de transit par l'Union Soviétique leur est promis.- Les susnommés ont l'intention de s'embarquer sur le bateau YAWATA MARU, le 19 juin, à Yokohama.

La Légation remercie vivement d'avance le Ministère des Affaires Étrangères de ce qu'Il voudra faire en cette occurrence.

Tokio, le 5 mai 1941



Au Ministère Impérial des Affaires Étrangères

T o k i o .

MAGYAR KIRÁLYI KÖVETSÉG
LÉGATION ROYALE DE HONGRIE

TOKIO.....

291/1941

La Légation Royale de Hongrie présente ses compliments au Ministère Impérial des Affaires Étrangères et a l'honneur de Le prier de bien vouloir autoriser la Légation Impérial du Japon à Budapest de viser en transit le passeport de M. János DÓCZI et Madame Dóczi née Véronique Gonda qui désirent se rendre aux États-Unis d'Amérique.- Ils ont le visa d'entrée en Amérique; le visa de transit par l'Union Soviétique leur a été promis.- Monsieur et Madame Dóczi ont l'intention de s'embarquer sur le bateau YAWATA MARU, le 19 juin, à Yokohama.-

La Légation remercie vivement d'avance le Ministère des Affaires Étrangères de ce qu'Il voudra faire en cette occurrence.

Tokio, le 5 mai 1941.



Au Ministère Impérial des Affaires Étrangères

T o k i o .

一應、別令より希至、本館
ハ、取寄ルコト、トモ、モ、
ハ、便館ニ通知シ、モ、
遊報長クサイ、
ト、

2.4.6.0.1-2

秘

秘電報

總務部長宛
軍務局長宛

參電第五七一號

昭和十六年五月六日
五六一八五〇發
甲集團參謀長

本主トシテ神戸附近ニアルノ數百名ノ猶太避難民
ハ將來北支方面ニ移住セント畫策シアリトノ情報
アリ既ニ若干ノモノハ神戸駐在支那總領事ノ査
證ヲ得テ天津ニ來レリ
當軍ハ昭和十五年以來避難猶太人ノ入京ヲ
禁止シアルニ付支那大使ニ對シ注意ヲ喚起セリ
レ度

通電先 陸 參

終

S 9460-3

2473

I-0882

秘

電信課長

大臣

次官

東亞 歐洲 米洲 通商 條約 情報 調查 人事 儀典 文書 會計 秘書官

寫送先

分類 I 4.6.0 1-2

昭和16 一二五一八 略

華府 五月九日後發
本省 十日前着

米

松岡外務大臣

第二八四號

紐育 The Union of Orthodox Rabbis of the United States and Canada 會長

I. Rosenbergs

來館ノ上猶太人祈禱者及學生約四百名ハ米國渡來ノ爲本邦ニ於テ米國領事ノ査證ヲ待チ居ルニテ右「ユニオン」ハ目下國務省ニ對シ査證促進方請願シ居リ茲數ヶ月内ニハ右入手シ得ル見込ナル由ノ處彼等一行ハ何レモ眞面目ナル宗教徒ニテ何等政治的運動ニ携ハリタルコト無キニ付査證許與セシムル迄至ル迄本邦滞在延期許可方願出テタルニ付テハ右其ノ筋へ然ル可ク御傳達ノ上結果回報相煩度シ(了)

外務省

S 9460-3

2474

民族問題
猶太人問題

外機密

電信課長

大臣

次官

東亞 歐洲 米洲 通商 條約 情報 調查 人事 儀典 文書 會計 秘書官

寫送先

分類 I 4.6.0 1-2

昭和16 五三三一七 暗

天津 五月十二日後發
本省 十二日夜着

通、米

松岡外務大臣

第一五二號

貴電第九九號ニ關シ(猶太避難民ノ北支渡航ノ件)

軍ニ於テハ獨逸系猶太避難民ノ入國ヲ極力阻止シ天津猶太宗教公會(北支軍ノ管理下ニアリ)發給ノ入國許可通告表(軍ハ猶太避難民中相當ノ生活ヲ營ミ得ルモノノ内ヨリ嚴選許可シ公會ヲシテ「北支當局ヨリ入國許可アリタル旨ノ通告書」ヲ發給セシメ居レリ)ナキモノハ支那側ノ査證アルモ入國ヲ拒否シ居レリ尙本年度ニ於ケル右許可數ハ二、三名ニ過キサレニテ軍ハ日本内地ニ於

外務省

S 9460-3

2475

テ番若渡航嚴重取締方ヲ要望シ居シリ(了)

外務省



9460-3

2476

I-0882

I-0882

獨逸ノ「キッファー」博士ヲ招聘シタル趣キ以テ
 人及共ノ妻子ニ對シテ入國査証手續方日研究所
 ヨリ首肯ニ納出アリタル事同博士ハ有機化学
 ノ世界的權威者ナリ日本邦新學界ニ對シテ
 特ニ入國ヲ許スルニ極力努ムルニ當リ是等ノ以
 意見向カシ俄至急以四手相成テ以般照
 會申進ス
 別紙キッファー博士ノ函書寫流附ノ下

公 信 案

外 務 省

(日本標準規格 B5)

主信		/ / 2	
附	甲		
	乙		
	丙		
	丁		
備考			

歐羅巴第三課
 五月二十八日
 本館北方面
 家徒ノ直ニ限リ
 國境ノ懸 案
 本館北方面ヨリ
 本館北方面ヨリ

文書課長
 文書課發 昭和拾六年五月拾參日發送済
 主 亞米利加局長
 任 第三課長
 米三機通表 第三七九號
 昭和拾六年五月拾參日
 淨書 (箱田) 昭和十七年五月六日起草
 正校 (原稿) (会末) (淨書)

受 信 人 名
 橋本内務省警保局長
 發 信 人 名
 寺田亞米利加局長

件 名
 於大系獨逸ノ「キッファー」博士及專家漢ノ入國ニ關
 今般大改市改夜区草間町三〇東洋製罐研究所
 東洋製罐株式會社内
 於テ別紙函書ノ獨大系

公 信 案
 外 務 省

13 160

1

東京製紙工業株式会社
改二 佐藤 幸次郎

ホツフアー博士の件

一 現住所 ミュンヘン プライトモア一街二六

二 経歴

ベルリン大學卒業後有機化学の權威フイシヤ博士の指導の下に研究に従事すること二ヶ年。博士號獲得後遷ばれて英國インピリアル化学會社の創立當時之に参加すること四ヶ年。歸國後フランクフルト獨逸染料會社に奉職すること二十六ヶ年。休職前の獨逸染料會社に於ける地位は「プロミネンチンケミスト」なり。ホツフアー博士の有機化学上の手腕に就いては全氏の獲得せる多數のバテント及研究報告にて立證せらる。

三 ホツフアー博士の家庭

本人は猶太系獨逸人にして其妻君は純獨逸人、其中に一女子十歳一名なり。例のヒットラー政策の結果獨逸染料會社は三ヶ年前止むなく休職せしめたるものにして其後は獨逸染料會社の支給する年金にて生活しつゝあり。本人は温厚なる紳士にして本夏、ユヘンにて企劃院資料課長内田源兵衛氏及び滿洲國貿易課長高津彦次氏とも會談し其人物に就いて爾雨氏とも充分御了解ある者なり。

四 ホツフアー博士の希望

直接會談の結果ホツフアー博士自身は給料よりも仕事に従事したいことを念願とする者にして雇用後は全氏全生涯を打ち込んで研鑽したる有機化学知識を傾けて奉仕するの用意あり。給料は邦貨にて満足し本邦に永住し、本邦の爲に充分の努力を盡さんとする意思あり。

五 雇用の目的

東洋製紙研究所に聘して若い化学者を指導養成せしめ、且つ代用品工業に必須ある有機素材工業の確立に参加せしめんとするものなり。

六 給料

本人家庭の移任に要する旅費は本邦に到着後圓貨にて支拂ふこととし、就職後の俸給は一ヶ年一五〇〇圓を支給せんとす。

以上

秘

米三秘第三七九號

昭和十六年五月十三日

外務省亞米利加局長

内務省警保局長殿

猶太系獨逸人「ホッフナー」博士及其家族ノ
入國ニ關スル件

今般大阪市此花區草間町三〇東洋製糖研究所（東洋製糖株式會社
内）ニ於テ別紙調書ノ猶太系獨逸人「ホッフナー」博士ヲ招聘シ
テ其趣ヲ以テ同人及其ノ妻子ニ對シ入國査證附與方向研究所
當省ニ願出アリタル處同博士ハ有機化學ノ世界的權威者ナル趣
付本邦斯界學術ノ爲テ入國ヲ許可スル様致度石ニ關スル貴省ノ
御意見何分ノ儀至急御回答相願度此致照會申進ス

外務省

（日本標準規格B5）

別紙添附

I-0882

ホツフアー博士ノ件
現住所 ミュンヘン プライトモアー街二六
三 経 歴

ベルリン大學卒業後有機化學ノ權威フイシャー博士ノ指導ノ下ニ
研究ニ従事スルコト二ケ年。博士號獲得後撰バレテ英國インピリ
アル化學會社ノ創立當時之ニ参加スルコト四ケ年歸國後フランク
フルト獨逸染料會社ニ奉職スルコト二十六ケ年。休職前ノ獨逸染
料會社ニ於ケル地位ハ「プロミネンテンケミスト」ナリ。ホツフ
アー博士ノ有機化學上ノ手腕ニ就イテハ同氏ノ獲得セル多數ノパ
テント及研究報告ニテ立證セラル。

ホツフアー博士ノ家庭
本人ハ猶太系獨逸人ニシテ其妻君ハ純獨逸人、其中ニ一女子十歳
一名ナリ。

例ノヒツトラー政策ノ結果獨逸染料會社ハ三ヶ年前止ムナク休職

外 務 省

セシメタルモノニシテ其後ハ獨逸染料會社ノ支給スル年金ニテ生
活シツツアリ。本人ハ濃厚ナル紳士ニシテ本夏ミュンヘンニテ企畫
院資料課長内田源兵衛氏及ビ滿洲國貿易課長高津彦次氏トモ會談
シ其人物ニ就イテ御兩氏トモ充分御了解アル者ナリ。

ホツフアー博士ノ希望
ホツフアー博士自身ハ給料ヨリモ仕事ニ従事シタイコトヲ念願ト
スルモノナリ。テ雇用後ハ同氏益生涯ヲ打ち込メテ研究シタル有機
化學知識ヲ傾ケテ奉仕スルノ用意アリ。給料ハ邦貨圓ニテ満足シ
本邦ニ水任シ、本邦ノ爲ニ充分ノ努力ヲ盡サントスル意思アリ。

雇用ノ目的
東洋製鐵研究所ニ聘シテ若イ化學者ヲ指導養成セシメ、且ツ代用
品工業ニ必須アル有機資材工業ノ確立ニ参加セシメントスルモノ
ナリ。

六 給 料

外 務 省

本人家庭ノ移住ニ要スル旅費ハ本邦ニ到着後圓貨ニテ支拂フコト
トシ、就職後ノ俸給ハ一ケ年一五、〇〇〇圓ヲ支給セントス。
以上

外務省

高崎用箋

昭和十六年一月二十日

澤田廉三 殿

拜啓 時下益々御清祥の段奉賀上候

一昨夜は誠に失禮申上恐縮致居候 何卒不悪御諒承賜りたく願上候

其節御話申上候ホフアの件要項別紙の如くに有之既に同様要項一部は外務省歐亞第二課
法眼事務官殿宛提出致し御願申上居候次第御高舎賜り、何卒宜敷御高配の程御願申上候

右不取敢御願迄如斯御座候

敬具

手紙分

I-0882

ホツフアー博士の件

一 現住所 ミュンヘン フライトモアー街二六

二 経歴

ベルリン大學卒業後有機化学の權威フィッシャー博士の指導の下に研究に従事すること二ヶ年。博士號獲得後擧げられて英國インビリアル化学會社の創立當時之に参加すること四ヶ年。爾後フランクフルト獨逸染料會社に奉職すること二十六ヶ年。休職前の獨逸染料會社に於ける地位は「プロミネンチンケミスト」なり。ホツフアー博士の有機化学上の手腕に就いては全氏の獲得せる多數のペテント及研究報告にて立證せらる。

三 ホツフアー博士の家庭

本人は猶太獨逸人にして其妻君は純獨逸人、其中に一女子十歳一名なり。例のヒツトライ政策の結果獨逸染料會社は三ヶ年前止むなく休職せしめたるものにして其後は獨逸染料會社の支給する年金にて生活しつゝあり。本人は濃厚なる紳士にして本夏ミユヘンにて企劃院資料課長内田源兵衛氏及び滿洲國貿易課長高津彦次氏とも會談し其人物に就いて瀧田氏とも充分細了解ある者なり。

四 ホツフアー博士の希望

直接會談の結果ホツフアー博士自身は給料よりも仕事に従事したいことを念願とする者にして雇用後は全氏全生涯を打ち込んで研鑽したる有機化学知識を傾けて奉仕するの用意あり。給料は邦貨にて満足し本邦に永住し、本邦の爲に充分の努力を盡さんとする意思あり。

五 雇用の目的

東洋製鐵研究所に聘して若い化学者を指導養成せしめ、且つ代用品工業に必須ある有機資材工業の確立に参加せしめんとするものなり。

六 給料

本人家庭の移住に要する旅費は本邦に到着後國貨にて支拂ふこととし、就職後の俸給は二ヶ年一五〇〇〇圓を支給せんとす。

以上

秘

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 儀典 文書 會計 秘書官

寫送先

分類 工 4.60.1-2

昭和16 一三三三八 略

オツタワ 五月十六日後發 米、歐 本省 十七日前着

松岡外務大臣

吉澤公使

第七二號

十六日朝 Rabbi Hasman ナル者本使ヲ來訪日本政府ハ神戸ニ通過査
證ヲ以テ滞在中ノ猶太避難民ニ對シテ來ル二十五日限り退去ノ措
置ヲ執ラルル趣ナルカ彼等ハ日本ニ永住ノ意嚮ヲ有セス米加乃至
南米等ニ移住ノ目的ヲ有スルモノナルモ何分入國先ノ官憲ノ手續
手間取ル爲本意乍ラ滞在ヲ餘儀無クセラレ居ルモノニシテ一方
在米猶太人本部ニ於テハ米國南米諸國ノ官憲ニ對シテ手續促進ニ
懸命トナリ居リ在華府日本大使館ニモ御願ニ出テタル筈ナルカ自

記録係 猶太人問題

外務省

9460-3

2477

2

分等ハ加奈陀政府ニ交渉シ相當數ノ入國ヲ許サル事トナリ居ル
次第ナレハ右期限ノ延期ヲ御願致度シト申出テタルニ依リ本使ハ
期限云々ニ付テハ何等聞カサルモ新聞等ニ依リ神戸滞留ノ猶太人
ノ處置ニハ當該官憲ニ於テ相當困惑シ居ル様承知シ居レリ兎ニ角
御話ノ趣ハ政府ニ電報スヘント述ヘ置キタルカ本件ニ付心得置ク
ヘキ事モアラハ御電報ヲ得度シ
尙加奈陀政府ノ入(國)許可云々ニ付テハ當館ニ從來避難民入國
ヲ好マサル様承知シ居タルヲ以テ事ヲ右ニ付努力シ居ル波蘭總領
事ニ確メタル處當該政府ハ戰爭中一定ノ條件ノ下ニ歐洲ヨリノ避
難民一千名ノ入國ヲ許ス事トナリタルカ波蘭人大半ヲ占ムルヲ以
テ少クモ五百名ハ同國人ニ割當テラルルモノト認メ居リ其ノ中三

外務省

9460-3

2478

外機密

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 儀典 會計 會社 秘書官

寫送先

分類 工 4 60 1-2

3

百名 葡萄牙經由シ者ニ既ニ査證發給サレ居ルヲ以テ日本經由ノ者ニ割當テラルルハ二百名迄ノ見込ニテ右ハ基督教徒ヲモ含ムモ猶太人多數ヲ指ムル旨述ヘ居タリ御參考迄
米、紐育、晚香坡へ暗送セリ

外務省

S 9460-3 2479

記名 長嶺岡 子 氏 備 大 人 内 氏

昭和16年 一三六五二 暗 浦潮 五月二十日 後發 本省 二十日夜着 米

根井總領事代理

松岡外務大臣

第一六四號ノ一（依頼報）

獨逸旅券ヲ有スル左記上海行「ユタヤ」避難民五名在獨太使館發給ノ通過査證檢印方願出タル處同査證ニハ通過地點ハ關東州ト指定シアリ當館トシテハ一應檢印ヲ拒絕セルモ本人等ハ本邦經由ノ積ナリシ旨申立居リ右ハ査證申請當時極東ノ事情ニ疎キ此等旅行者ノ曖昧ナル申立ニ起因スルモノト思惟セラレ且蘇側出國地ハ浦潮トナリ居リ他ノ地點經由出國ハ蘇側手續上困難ナルノミナラス事實上引返案コトハ不可能ナルニ付當館ニ於テ本邦經由有效ノ附

外務省

S 9460-3 2480

I-0882

寫送先

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 儀典 會計 秘書官

大臣 次官 電信課長

記ヲナスカ或ハ新親通過査證ヲ下附シ差支無キヤ何分ノ儀御向電
ク請フ
(續ク)

2

昭和16 一三六五三 暗 浦潮 五月二十日午前發 米
本省 二十日夜着

松岡外務大臣 根井總領事代理

第一六四號ノ二(依頼報)

記

一、「ウイリ、イスラル、ナフタニエル」査證客年九月十八日附第
一二三二號

二、「イルデガルド、シャルロット、サラ、ナフタニエル」査證客
年九月十八日附第一二三三號

三、「ヘンリツテ、サラ、レヴィン」査證客年八月二日附第九七二
號

外務省

外務省

S 9460-3 2482

S 9460-3 2481

I-0882

四? 「ルトウイツヒ、イスラエル、シレンジェル」査證客年九月十

八日附第一二七七號

「エステル、マルカ、サラ、ゾントラント」査證客年九月十八

日附第一二三四號

尙右一行ハ一切ノ本邦通過條件ヲ具備ス(了)

外務省

S 9460-3

2483

I-0882

I-0882

發信用		執務用		懸案	要領書第一課 神戶市神田区中山手通 二丁目二回ノ一 山ノ内「國名譽領事」 凡ハルト・おんケス 藤原氏ノ通過書送方ニ關シ 拜啟 本月六日附芝輪ヨリテ貴局ヨリ責復 宛申進スル四月二十八日附書面ノ内容ニ付申越
主信	/	/	〇		
附甲	/	/	〇		
乙					
丙					
附丁					
備考					
公文書案		外務省		文書課長 文書課發送 昭和拾六年五月廿參日發送済 主 亞米利加局長 任 第三課長 米三機通 第... 昭 昭和拾六年五月廿壹日附 附屬 淨書 正校(原稿) (淨書) 昭和十七年 五月廿二日起草 別紙	
公文書案		外務省		名 人 信 受 神戶市神田区中山手通 二丁目二回ノ一 山ノ内「國名譽領事」 凡ハルト・おんケス 名 件 録 記 名 人 信 發 寺田亞米利加局長	
公文書案		外務省		一 趣了承就スル右書面ノ佛說譯文別紙 送付候旨委細在テ了知及テ以段 回答申進候 敬告 四月二十八日附亞米利加局長ヨリ山ノ内「國名譽領事」 事宛書信ノ佛說譯文添附ノコト	

(日本標準規格 B5)

洞譯課

傳文

拜啓陳者歐洲避難民ノ本邦通過ニ關シ貴館ヨリ在莫斯科帝國大使館宛入國許可ヲ與フヘキニ付本邦通過査證附與アリタキ旨電報相成居ル趣ノ處同大使館ヨリ右電報ニテハ事務取扱難キ旨申越アリタルニ付右様御了承相成度此段申進候

昭和十六年四月二十八日

敬具

外務省亞米利加局

在神戸
「ウルグアイ」國名譽領事館 御 中

外務省

(日本標準規格B5)

I-0882

1

一九〇一年五月六日

在神戶、ウヰグワイン名譽領事

アムステルダム、ボムケス

聖東所如令長官

上野

押込、陳着四月五日附考稿五之文領仕候、不幸

こと、小生は日本、英文、文章、之、要、之、何、等、ノ、智、識、ヲ、有、セ

サ、レ、付、考、稿、ノ、送、リ、之、ヲ、理、解、致、シ、タ、ル、モ、理、今

公 信 案

外 務 省

(日本標準規格 B5)

其ノ内容ヲ不用意ニ翻訳セシムコトハ、之ヲ、換

ルリ候、留、佛、語、英、語、又、ハ、西、班、牙、語、ヲ、以、テ、互

ニ、翻、訳、ス、ル、事、ハ、亦、亦、考、之、候、 本 日

公 信 案

外 務 省

(日本標準規格 B5)

I-0882

Consulado
de la
República Oriental del Uruguay
Kobe (Japón)

Kobe, le 6 mai 1941.

Monsieur le Directeur,
Département d'Amérique,
Gaimusho.

Monsieur le Directeur,

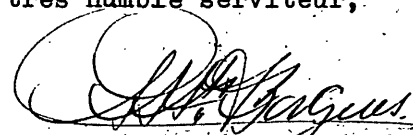
J'ai l'honneur de vous accuser réception de votre lettre
en date du 28 avril.

Je le regrette beaucoup, Monsieur le Directeur, mais n'ayant
malheureusement aucune connaissance de la langue japonaise écrite,
je vous serais infiniment reconnaissant si vous voudriez bien m'écrire
de nouveau en français, anglais ou en espagnol afin que je puisse
savoir de quoi s'agit votre lettre, dont à présent je n'ose pas
commettre l'imprudence de faire traduire le contenu.

Dans l'espoir que vous accueillerez ma demande avec faveur,
j'ai l'honneur d'être avec respect,

Monsieur le Directeur,

vos très humble serviteur,


Consul honoraire

I-0882

Le 21 mai 1941.

Monsieur le Consul,

J'ai l'honneur de vous accuser réception de votre lettre en date du 6 de ce mois, par laquelle vous avez bien voulu m'exprimer le désir d'obtenir une traduction en français, en anglais ou en espagnol de la Note que la Direction des Affaires d'Amérique a adressée en date du 28 avril au Consulat honoraire de l'Uruguay à Kobe.

Je m'empresse de vous faire parvenir ci-joint la traduction en français de ladite Note.

Veillez agréer, Monsieur le Consul, l'assurance de ma considération très distinguée.

Directeur des Affaires
d'Amérique.

Monsieur Alberto Borques,
Consul Honoraire du Japon
de l'Uruguay.

La Direction des Affaires d'Amérique au Ministère des Affaires étrangères a l'honneur de faire savoir au Consulat honoraire de l'Uruguay à Kobe que l'Ambassade du Japon à Moscou vient de communiquer au Ministère que le Consulat honoraire de l'Uruguay à Kobe lui a adressé un télégramme demandant directement d'accorder le visa de transit aux réfugiés européens se rendant à l'Uruguay, le Consulat honoraire se proposant de leur donner la permission d'entrer à l'Uruguay, mais que l'Ambassade ne peut rien faire avec ce télégramme.

Le 28 avril 1941.

I-0882

La Direction des Affaires d'Amérique au Ministère des Affaires étrangères a l'honneur de faire savoir au Consulat honoraire de l'Uruguay à Kobe que l'Ambassade du Japon à Moscou vient de communiquer au Ministère que le Consulat honoraire de l'Uruguay à Kobe lui a adressé un télégramme demandant directement d'accorder le visa de transit aux réfugiés européens se rendant à l'Uruguay, le Consulat honoraire se proposant de leur donner la permission d'entrer à l'Uruguay, mais que l'Ambassade ne peut rien faire avec ce télégramme.

Le 28 avril 1941.

I-0882

Le 21 mai 1941.

文書課長

平塚 嘉高



主任



翻譯課



翻譯課

山口



Monsieur le Consul,

J'ai l'honneur de vous accuser réception de votre lettre en date du 6 de ce mois, par laquelle vous avez bien voulu m'exprimer le désir d'obtenir une traduction en français, en anglais ou en espagnol de la Note que la Direction des Affaires d'Amérique a adressée en date du 6^{avril} courant au Consulat honoraire de l'Uruguay à Kobe.

Je m'empresse de vous faire parvenir ci-joint la traduction en français de ladite Note.

Veillez agréer, Monsieur le Consul, l'assurance de ma considération très distinguée.

Directeur des Affaires d'Amérique.

21-15

I-0882

大日本帝國政府

国籍別	一、第三國查詢取得ノ有無 其他 (三月三十一日現在 神奈川県)				滞邦事由
	独逸	波蘭	瑞典	合諾	
国籍別	独逸	波蘭	瑞典	合諾	滞邦事由
總數	二八	六四	二	九五	
行先地(目的地)查詢取得	有				
	二六	二五	二	五四	
無		三九		四一	
查詢取得	二五	六一	二	八八	
滞邦事由	三	三	一	七	

(國定規格B5一八二X二五七種)

大日本帝國政府

国籍別	一、滞在中ノ猶大隣難民ノ所持スル第三國查詢取得						計
	波蘭	獨逸	予エコ	リスアシア	其他	計	
国籍別	波蘭	獨逸	予エコ	リスアシア	其他	計	
總數	八〇	四一	二	三	六	一三二	
無查詢	八六	一七				一〇三	
其他	三三	二				三五	
パレスチナ	四九	三五				八四	
中南米	一〇七	五七				一六四	
蘭領	四	四				八	
北米	八〇	四一				一二一	
計	一三二	一〇三	二	三	六	二五二	

(國定規格B5一八二X二五七種)

(三月二十日現在 兵庫)

秘

宣

秘第六五八號

康徳八年五月二十四日

駐日特命全權大使 李 紹 庚

外務局長官 章 煥 章 殿

猶太系波蘭人ノ入國拒否ニ關スル件
 波蘭國籍ヲ有スル猶太人ニシテ「カウナス」(元リスアニア首府)
 駐在日本領事館ノ査證(概ネ昭和十五年七月乃至八月頃ニ發給セル
 モノニシテ南米蘭領ギヤナ *Guiana* 同西印度 *Calcutta* 島及其他蘭領
 各植民地へ赴クト記載シアリ)竝ニ日本滯邦許可書(期間ハ一ヶ月
 乃至二ヶ月)ヲ所持シ約三ヶ月間ノ豫定ニテ視察又ハ親友訪問ノ目
 的ヲ以テ哈爾濱市へ赴クカ爲當館ノ査證ヲ願出ツル者アリ既ニ之ニ
 與ヘルモノ二十一名ニ達セル處近日更ニ激増ノ傾向ヲ示スニ至リタ

外務省

(日本標準規格B5)

密爲第一號

保

(分類)

電 信 案	電 信 案	電 信 案	電送第 19161 號	主管 乘利加曼	主任 第三課 小坂	昭和十七年 五月 十四日 起草
			附 録	宛 在 浦 衛 根井總領事代理	發 松島大臣	
貴愛第一六四號(蘭)		同ノ等ハ在上海帝國總領事發給ノ有効期間 内ノ未入許可証ヲ有スルヤ回復アリタシ		第一一八號	記録件名	

外務省

(日本標準規格B5)

I-0882

ルヲ以テ當館ニ於テハ彼等査證願出ノ真相ヲ調査シタルニ左ノ如キ
結論ヲ得タリ
即チ此等猶太人ハ概ネ經濟狀態裕ナラザルモノノ其旅行方面ノ行先
地ナル「スリナム」、「クラカオ」及其他蘭領植民地等へ赴カント
ノ確固タル意思ナキハ勿論其船賃ノ貯ヘアルニアラズ從ツテ蘭國官
憲ヨリ入國ニ關スル何等ノ査證ヲ有セズ單ニ假定的ニ目的地ヲ旅券
ニ記載シタルニ止リ從ツテ日本國ニ上陸セルモ前途ヲ繼續スルノ意
志ナク日本國ノ滯邦許可書ヲ得其ノ間ニ視察又ハ訪問ト稱シテ入國
ノ査證ヲ受ケ我國へ潛入シテ然後ニ現地ニ於テ更ニ何等カノ方法ヲ
以テ永住的ニ生活ノ資ヲ求メントノ魂膽オリト思料セラル從ツテ將
來ニ於テハ此等猶太人ニ對シテハ彼等ノ潛入ヲ防ク爲外國人入國取
締規則及其他ニ依リ入國ヲ拒否スルコト可然ト存セラルルモ至急何
分ノ御回示相成度 尙已ニ入國許可ヲ與ヘタル二十一名ノ者（別添
名簿參照）ニ對シテハ貴局ニ於テ國內取締當局ニ御連絡ノ上適宜御

外務省

處理相煩度

尙本件ニ關シテハ外務省側トモ連絡濟ニ付爲念申添フ

外務省

月	日	査證 番號	姓	名	年 齡	性別	職	業	入	境	到	達	旅券番號
									地	點	地	點	
5	1	970	Salo	Zmigrow	66	男	商	人	瓦房店		哈爾濱		2454/31
		5 1005	Izrael	Beckerman	32	"	"		安東		"		B 411
		" 1029	Bejn	Leijh Szmul	50	"	著	作	"		"		219
		6 1031	Josef	Orgler	26	"	技	師	瓦房店		"		47
		" 1055	Abram	David Gelbfisz	29	"	牧	師	"		"		193
		9 1071	Abram	Lasbus Rabiwowicz	27	"	學	生	安東		"		R 387
		" 1073	Satadlin	Miron	40	"	書	記	瓦房店		"		K 12
		10 1074	Benjamin	Weingarten	41	"	商	人	"		"		3814
		13 1100	Jozef	Kanneniechi	33	"	記	者	"		"		K 94/1/40
		14 1129	Jozef	Kozlowski	25	"	學	生	安東		"		3956/7
		" 1130	Jozef	Bubinsztejn	36	"	書	記	"		"		R-158
		" 1131	Kulik	Bowch	32	"	繙	譯	"		"		K-368
		15 1143	Chil	Rosenfeld	25	"	先	生	"		"		R 439
		16 1156	Lejba	Samicki	24	"	書	記	"		"		S 27
		17 1161	Leonid	Epelbaum	45	"	毛	皮商	"		"		290455
		" 1162	Bachel	Sole	49	女	無		"		"		290458
		" 1163	Majzesz	Landsman	46	男	毛	皮商	"		"		649323
		19 1184	Lejb	Wassercug	20	"	商	人	"		"		W 168
		" 1187	Samuel	Pauliya Haffjka	35	"	備	員	"		"		171
		" 1188	Iggmunt	Rancman	36	"	"		"		"		172
		" 1189	Pinkms	Henryk	48	"	"		"		"		P 415

I-0882

外機密

電信課長

大臣
次官

東亞 歐洲 通商 條約 情報 文化 調查 儀典 文書 會計 秘書官

寫送先

分類 工 4 10 1-2

昭和16 一四二一八 暗

浦潮 五月二十六日 前發 米
本省 二十六日夜着

松岡外務大臣

根井總領事代理

第一七五號

貴電第一一八號ニ關シ（上海行猶太避難民ノ本邦通過許可方ニ關スル件）

往電第一六四號ノ五郵報ノ内（白）ハ客年五月十日附他ノ四名ハ同年六月十三日附何レモ有効期間四箇月ノ在上海帝國總領事館發給ノ共同租界我軍占領地區來入許可證ヲ有ス（了）

長族
猶太人問題

外務省

S 9460-3

2484

I-0882

This Legation has been endeavoring for several months to repatriate some fifty American citizens and the only feasible route to the United States now open appears to be via Russia and Japan. The Japanese Legation informs me that favorable action on applications of American citizens for Japanese transit visas is most unlikely unless you intervene with the Japanese Foreign Office requesting it to telegraph authorization here.

The following American citizens and close alien relatives require Japanese transit visas (passport numbers given after names):

- Beatrice Bergen, clerk at this Legation special 5600;
- Louis Carroll 38;
- Mattie Marroll 30;
- Rachel Avram and minor daughter Liliana 93;
- ✓ David Salzman alien wife Rose (affidavit) 75;
- Sam Joseph and daughter Rozal. 28;
- Harry Ornstein and wife Sally 120;
- Hamy Schwartz and daughters Lilia and Renée 40;
- Sigmund Feferman 112;
- ✓ Rose Kaufmann Cosla 16 and alien husband Osias (Roumanian passport);
- ✓ Sam Packet 13 and alien wife Charlotte (affidavit);
- ✓ Edwin Friedman 29 and alien wife Angel (Roumanian passport).

There

-2-

There will be other American citizens desirous of repatriation and I should appreciate any steps you may be in a position to take towards having the Japanese Foreign Office grant its Legation here blanket authorization to issue transit visas to American citizens endorsed by this Legation.

GUNTHER

I-0882



EMBASSY OF THE
UNITED STATES OF AMERICA

Tokyo, May 26, 1941.

Dear Mr. Yuki:

With reference to our conversation of this morning regarding the difficulties encountered by Americans in Rumania in obtaining Japanese transit visas for their travel to the United States via Japan, there is transmitted herewith, in compliance with your request, a copy of the telegram on the subject despatched to this Embassy by the American Minister at Bucharest on May 24, 1941. You will observe that only four persons mentioned in this telegram are not American citizens and that all of these four non-Americans will accompany their American spouses to the United States.

It is hoped that the Foreign Office will be able to telegraph authorization to Bucharest for the issuance of Japanese transit visas to all the persons mentioned in the enclosed telegram and that, in addition, general authorization can be granted to the Japanese Legation at Bucharest to issue Japanese transit visas to American citizens whose applications are endorsed by the American Legation there.

Sincerely yours,

Charles A. Cooper,
Third Secretary of Embassy.

Enclosure.

S. Yuki, Esquire,
Chief, First Section,
American Bureau,
The Gaimusho.

I-0882

電 信 案

電 信 案

外 務 省

改定後

(日本標準規格B5)

レ展り事案上後へ引返ヌト示の儀ナレガ右ノ内
 白ハ終年五月十日附其他ハ同年六月十三日附何レモ
 四ヶ月有効ノ其後ノ事入訴可記リ有レ展ルニ左
 貴地ハ白出案セシメテ支ナキヤ何分ノ儀
 電アリタシ

電 信 案

外 務 省

(分類)

電 信 案

外 務 省

(日本標準規格B5)

電送 19885 號 主管
 昭和十六年五月二十九日午後七時五分發
 主任 栗利加昌長
 第三課長 數田
 昭和十六年五月二十九日 起草
 電信課長
 發電係
 在 上 海
 堀内總領事
 上海新橋支店(五名)通過
 件 査治ノ事ナレ仰
 第 四 六 三 號
 記 録 件 名
 發
 松平大臣
 左記五名ノ上海新橋支店ヲ選入目下浦潮
 来リ内地總領事館ニ本邦通過方願出テ展
 外國ノ事ハ何レモ在留大使館ノ通過査治ヲ有

I-0882

外機密

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 儀典 文書 會計 秘書官

寫送先

分類 I 4.6.01-2

電信案

外務省

記

- (一) ヘンリソテ、サラ、レウイシ
- (二) ウイリ、イスラル、ナフタニエル
- (三) イルデガルト、シヤルセワテ、サラ、ナフタニエル
- (四) エステル、マルカ、サラ、ゾントラント
- (五) ルトウイワヒ、イスラエル、シレジシゲル

(日本標準規格B5)

記録 長 後 内 省 内

昭和16 五三七二二一 暗

上海 五月三十日後發
本省 三十日夜着

米

松岡外務大臣

第八七九號

貴電第四六三號ニ關シハ上海行猶太人五名ノ通過査證ニ關スル件

猶太系避難民ノ上海來入ハ總ニ措置ヲ以テ「テスカレジ」ニ來

リ居ルコト御承知ノ通りニシテ右趣旨ニ依レハ有効期間經過後ノ

來入許可證ハ當然無効トスヘク從來ノ經驗ニ鑑ミ右ヲ認ムルニ於

テハ之ヲ前例トシテ同様ノ申請多クアルベキコト必至ナルニ付現

地外陸海官憲ニ於テハ本件猶太人ノ上海向出發ヲ阻止モラレタキ

意圖ナリ

外務省

S

9460-3

2485

記

I-0882

尙令後斯ノ如ク有效期間經過後ノ許可證ニ基キ許可査證ヲ發給ス
ルカ如キコトナキ様御取計相成度シ(了)

外務省



9460-3

2486

I-0882

照和十六年五月二十日

外務部第一八八號

第三課

昭和拾六年六月三日 接受

兵部縣知事 坂

子 秋

内務大臣 平 沼 賦 一 郎 殿
外務大臣 松 岡 洋 右 殿
逓信大臣 村 田 省 藏 殿

マニラ丸乗船避難猶大人ニ對スル
飲料水及食料品補給ニ關スル件

1) 海難猶大人退却ニ關シテ、神戶猶大人協會ヲ督勵脱意ニシテ、遂ニ
圖シ、マニラ本島ニ於テ、神戶出帆大坂商船會社所屬マニラ丸ニハレス
ンニ入國スヘキ、海難猶大人五十三名ヲ乘船退却ビシメ、之等海難猶
大人ハ、英領ケルフトワンニ上陸、アフリカヲ縱斷目的地ニ入國スル趣ナ
ルガ、該商船會社ニ於テ、從來例ニ倣スルニ日本ハ、板垣國泰也以來、英

領各港兵免前日本船ニ對シ、正迫的態度ヲ持シ、飲料水食料品等ヲ積
込テ殊更、遷延スル拒否スルガ如キ事列アリテ、今次、航路ニ於テ斯ル方法
ヲ反覆ナルニ於テ、殊多敷ノ海難猶大人ヲ乘船セシメ、居ル事實ニ鑑ミ、深
刻ナル事態發生スル虞アルヲ以テ、予メ本邦駐在英國大使館ヨリ、今
船ノ寄港地タル英領新嘉坡(シンガポ)ニ於テ、駐在英
國官憲ニ便宜共與打電テ、切望シ、居リ當廉ニ於テ、モ公人等乘船
ニ關シ、大阪商船會社ニ相當強硬ナル申入レヲ為シタル結果、乘船セシメタル
事情ニ照シ、公會社、要望モ亦相當理由アルモノト認メラルヲ以テ、外務省
省ニ於テ、英國大使館ニ申入レヲ為シ、公會ヨリ寄港地英國官憲ニ對
シ、飲料水及食料品等、積込ニ付テ便宜共與方打電スル様却テ配
相煩度
右及申報候也

	發信用執務用		
主信	36	2	38
附	甲	26	2
	乙		
	丙		
	丁		
備考			

12
懸案
郵務第三課長
亞米利加局第二課長

機密

公文書案	本邦通過米大陸行政州遊雅民 通より漸次多數移住之到事其多んか其ノ中ニハ行政先國 人滞留現狀並ニ之ヲ取扱方ニ關スル全案也	名件 本邦通過米大陸行政州遊雅民ノ開スル件	名人信受 在米、中、南米 各分局長 (別表ノ印ノ所)	名人信發 松島大臣	名件録記
		主 亞米利加局長 任第三課長 昭和十六年六月十日 昭和十六年五月廿日 日附 附屬	文書課長 文書課發送 昭和十六年六月十日 昭和十六年五月廿日 日附 附屬	淨書 正校(原稿) 昭和十六年五月廿日 日附 附屬	

別紙

一入國手續、撥取アル為直、本邦ヲ出國シ難キ者
 意外ニ多ク在、進難民ニシテ、^{日本}神戶及横濱ニ於
 テ滞留セシ者千數百名、上リ者續々歸來セトス
 ン傾向アリ、^{トリス}本邦内ニ在ル者、^{トリス}本邦内ニ在
 本邦籍有人協會等ヲ智勵シテ、^{トリス}本邦内ニ在
 者ノ出國方、努力ノ所アリ、^{トリス}其ノ實績、^{トリス}決マシカ
 依テ、^{トリス}其種別難民ノ歸來ヲ制限ス、^{トリス}其
 本年三月在政名、訓令シテ、^{トリス}難民ノ對スル

公 信 案

外 務 省

(日本標準規格B5)

通過書込事務、ハ在蘇大使館、改メテ之ヲ取扱ヒ、
 級ニ於テハ、^{トリス}本邦ト連続ノ上ニ、^{トリス}進難民ニ
 コトトシ、^{トリス}其他ノ^{トリス}級ニ於テハ、^{トリス}在蘇大使館ハ、^{トリス}其
 本トシテ、^{トリス}揚星シ、^{トリス}為、^{トリス}本年三月二十日以前、^{トリス}在政名、^{トリス}於
 テ、^{トリス}改メ、^{トリス}以、^{トリス}種別通過書込、^{トリス}ハ、^{トリス}行先國、^{トリス}入國手續、^{トリス}
 欠点、^{トリス}アル、^{トリス}其、^{トリス}進難民、^{トリス}ハ、^{トリス}在蘇大使館、^{トリス}ニ、^{トリス}在、^{トリス}備
 漸、^{トリス}進難民、^{トリス}ニ、^{トリス}於テ、^{トリス}之、^{トリス}進、^{トリス}難、^{トリス}民、^{トリス}ハ、^{トリス}上、^{トリス}入、^{トリス}國、^{トリス}手、^{トリス}續、^{トリス}係、^{トリス}係、^{トリス}
 完、^{トリス}備、^{トリス}書、^{トリス}込、^{トリス}ノ、^{トリス}ハ、^{トリス}、^{トリス}横、^{トリス}印、^{トリス}ヲ、^{トリス}施、^{トリス}シ、^{トリス}右、^{トリス}横、^{トリス}印、^{トリス}ナ、^{トリス}キ、^{トリス}者、^{トリス}ハ

公 信 案

外 務 省

(日本標準規格B5)

在外公館表 昭和 年月 日附 機密合第 號 (總數 一六一)

在英大使館	在漢優總領事館	◎南 北 米 (三〇)	在米大使館	◎亞細亞南洋 (三五)
在佛大使館	在維納總領事館	在米大使館	在米大使館	在英大使館
在獨大使館	在ブラーグ總領事館	在ブラジル大使館	在カナダ公使館	在佛大使館
在伊大使館	在イグアール領事館	在カナダ公使館	在メキシコ公使館	在獨大使館
在白大使館(引揚時)	在アンゲルス領事館	在メキシコ公使館	在ベルト公使館	在伊大使館
在土大使館	在馬耳塞領事館	在ベルト公使館	在チリ公使館	在白大使館(引揚時)
在波蘭大使館(引揚時)	在カウナス領事館(閉鎖時)	在チリ公使館	在アルゼンチン公使館	在土大使館
在瑞西公使館	在バルセロナ領事館	在アルゼンチン公使館	在グアテマラ領事館	在波蘭大使館(引揚時)
在西公使館	在ストックホルム領事館	在グアテマラ領事館	在コロンビア公使館	在瑞西公使館
在蘭公使館(引揚時)	在事務局並總領事館	在コロンビア公使館	在パナマ公使館	在西公使館
在瑞典公使館	在ラトヴィア公使館(引揚時)	在パナマ公使館	在サンサルバドル領事館	在蘭公使館(引揚時)
在洪牙利公使館	在ブルガリア公使館	在サンサルバドル領事館	在リマ公使館	在瑞典公使館
在ブルガリア公使館	在ルーマニア公使館	在リマ公使館	在オタワ領事館	在洪牙利公使館
在ポルトガル公使館	在フィンランド公使館	在オタワ領事館	在ハヴァナ領事館	在ブルガリア公使館
在倫敦總領事館		在ハヴァナ領事館	在シカゴ總領事館	在ポルトガル公使館
		在シカゴ總領事館	在サンクトペテロ堡領事館	在倫敦總領事館

在スラバヤ領事館	◎露 西 亞 (八)	在塘沽出張所	在大同出張所
在メダン領事館	在ソウイニト聯邦大使館	在唐山分館	在厚和總領事館
在サングカン領事館	在浦潮總領事館	在石家莊領事館	在包頭分館
在スメア領事館	在アレンサン 總領事館	在青島總領事館	在太原領事館
在メナド領事館	在オハ領事館	在坊子出張所	在芝罘領事館
在カラチ領事館	在ベトロフ 領事館(閉鎖時)	在濟南總領事館	在威海衛分館
在ペイルト領事館	在アラゴウ 領事館(閉鎖時)	在張店出張所	在杭州領事館
	在エストニエン 領事館(閉鎖時)	在博山出張所	在九江領事館
◎亞弗利加 (八)	在ノヴォシビルスク領事館(閉鎖時)	在徐州領事館	在沙市領事館(引揚時)
在埃及公使館	在オゾツナ領事館(閉鎖時)	在新浦分館	在宜昌領事館(引揚時)
在南阿聯邦公使館	◎支 那 (四二)	在漢口總領事館	在長沙領事館(引揚時)
在アレキ	在北京大使館	在成都總領事館(閉鎖時)	在重慶領事館(引揚時)
在サントロイ領事館	在南京大使館	在福州總領事館(引揚時)	在鄭州領事館(引揚時)
在キートサイド領事館	在北京總領事館	在廣東總領事館	在汕頭領事館
在ケートタウン領事館	在北京總領事館	在海口總領事館	在雲南領事館(引揚時)
在モンパサ領事館	在上海總領事館	在南京總領事館	◎滿 洲 (一四)
在アイスナバ領事館	在蘇州分館	在蕪湖分館	在滿大使館
在キサランカ領事館	在天津總領事館	在厦門總領事館	在哈爾濱總領事館
	在山海關分館	在張家口總領事館	

昭和十六年一月二十五日現在

國籍別	事由別			
	入國手續完全ニテ船待中ノ者	入國査證アル者ナキ	入國査證合	計
獨逸	三	二	二	七
波蘭	三	二	三	八
瑞典	一	二	一	四
諸國	一	二	一	四
合計	七	四	六	一七

歐洲避難民滯留者 三月二十七日現在 神奈川縣

國籍別	先行國					
	北	米	領中	南	米	パレスチナ
波蘭	八〇	一〇	七	四	三	六
獨逸	四	一	五	七	二	一
子エソコ	二	一	四	一	一	一
リスアニア	三	一	〇	一	一	一
其他	六	八	〇	四	七	一
合計	一三二	一五	一七	一七	一六	一三
入國査證ナク先行不明						八
合計						二一

歐洲避難民滯留者 三月二十日現在 兵庫縣

№. 3

引受地	人員
漢伯 引	一、〇二四人
ストックホルム	一四八人
リスタ	二二人
ブタベ	一人
合計	一、一九五人 (平均一ヶ月二三九人)

昭和十五年七月／十一月當社太平洋航路
引受地別猶太人避難客乗船客數

日本郵船株式會社

(200 7-15)

№. 3

五ヶ月總計	六月	五月	四月	三月	二月	月別
	十九日	廿五日	廿四日	廿七日	廿六日	廿六日
	鎌倉丸 二〇〇	新龍田丸 二〇〇	淺八幡丸 二〇〇	鎌倉丸 二〇〇	新龍田丸 二〇〇	淺八幡丸 二〇〇
	廿六日	廿七日	十七日		十五日	十三日
	氷川丸 八〇〇	平安丸 八八〇	氷川丸 八八〇		日枝丸 八〇	氷川丸 八〇
	廿九日	廿一日	廿日			十日
	平洋丸 二〇〇	樂洋丸 一〇〇	銀洋丸 一六〇			平洋丸 二〇〇
	一、五五〇	四九〇	四五〇	五一〇	五一〇	合計

註 表中ノ日附ハ各船横濱出帆豫定日

昭和十六年二月／六月當社猶太人避難客
米國向輸送能力見込 (平均一ヶ月五一〇人)

日本郵船株式會社

(200 7-15)

本邦渡來歐洲避難民ノ狀況 昭和十六年四月十五日調

一 渡來者數及通過査證附與數

歐洲避難民ハ昭和十五年四月、五月頃ヨリ漸次多數渡來シ來リ其ノ數昭和十五年中二千七十一名、同十六年二月迄九百七十三名合計三千四十四名ニ達ス（内約一千七百名現在本邦ニ滞留ス）他面在外各公館ニ於テ昭和十五年一月以來同十六年三月中旬迄ニ歐洲避難民ニ對シ通過査證ヲ與ヘタル者ノ數ハ五千五百八十名ナリ、故ニ我方ノ通過査證ヲ與ヘタル者ニシテ尙未タ本邦ニ渡來セサル者ノ數ハ少クモ約二千五百名以上アルヘキ筈ナリ

ニ 避難民ノ取扱方ニ關スル訓令

歐洲避難民ノ取扱方ニ關シテハ在外公館ニ左ノ通訓令セララル

(一) 昭和十三年十月七日在歐各公館宛歐洲避難民ニ對シテハ

(一) 入國査證ハ拒絕スルコト (二) 通過査證ハ行先國ノ入國手續ヲ完了シ居リ且二百五十圓以上ノ携帶金ヲ有スル者ニ限り附與差支ナキ

旨訓電セラレ同時ニ其ノ旨在外各公館ニ訓令セララル

(二) 昭和十三年十二月七日在外各公館宛猶太避難民ニ對スル政府ノ方針並ニ之カ取扱ニ付テハ前掲(一)ノ訓令ニ依リ處理スヘキ旨訓電セララル

(三) 昭和十五年七月二十三日在歐各公館宛本邦經由米大陸行避難民籍々渡來スル處之等ノ者ニ對シテハ行先國ノ入國許可手續ヲ完了セシ者ニアラサレハ通過査證ヲ與ヘサル様取扱方訓電セララル

(四) 在「カウナス」領事館ニ對シテハ昭和十五年八月十六日同館査證ノ避難民中ニハ行先國ノ入國手續未済ノ爲又ハ携帶金僅少ノ爲上陸ヲ許可スルヲ得ス之カ處置方ニ困リ居ル事例アルニ付此際避難民ト看做サルヘキ者ニ對シテハ行先國ノ入國手續ヲ完了シ居リ且旅費及本邦滞在費等相當ノ携帶金ヲ有スルニアラサレハ通過査證ヲ與ヘサル様取扱方訓電セララル

(五) 前掲(四)ノ訓電ニ對シ在「カウナス」領事館ヨリ同地ニハ中南米籍

國ノ在外官憲ナキニ付確實ナル紹介者アル者ニ限り浦潮乗船迄ニ
行先國ノ入國許可取付ケ方、乗船豫約方並ニ携帶金ニ付テハ在外
資金ヲ本邦ニ轉送方等ヲ夫々手配スル者ニ對シテハ右實行ヲ條件
トシテ通過査證ヲ與ヘ居ルニ付右手續未了ノ者ニ對シテハ浦潮ニ
於テ乗船ヲ拒絶スル様致度旨來電アリタルニ付之ニ對シ十五年九
月三日同館ニ對シ船會社カ我方ノ通過査證ヲ有スル者ノ乗船ヲ浦
潮ニ於テ蘇官憲ノ命令ニ反シテ乗船ヲ拒絶スルコトハ事實不可能
ノコトナルノミナラス右ハ我國査證ノ信用ヲ害スルモノナルニ付
前電ノ通嚴重取扱アリタキ旨更ニ訓電セラレタリ

(六) 昭和十五年九月三十日蘇及在歐各館宛本邦通過歐洲避難民中行先
國ノ入國手續未了又ハ携帶金僅少ノ者少ナカラサルニ付(一)入國査
證ハ附與セサル様又(二)通過者ハ必ス行先國ノ入國手續ヲ完了シ居
リ且目的地ニ至ル間ノ所要船車賃ノ外本邦滞在日數ニ應シ一人一
日當リ最低二十五圓見當ノ宿泊料金ヲ必要トスルコトニ取扱方訓

電セラレ同時ニ此ノ旨在外各公館宛訓令セラレ

(七) 昭和十五年十二月十二日蘇及在歐各館宛中米諸國ハ歐洲避難民ニ
對シ入國許可制ヲ嚴重施行中ニシテ現ニ最近「パナマ」ニ於テ郵
船ニテ輸送セル同國入國及「パナマ」中繼「コスタリカ」、蘭領
「キエラソウ」、「ホンジュラス」、「ドミニカ」、「ハイチ」等ノ中
米諸國行歐洲避難民二十數名ニ對シ何レモ行先國並ニ「パナマ」
領事ノ査證アルニ拘ラス關係國政府ノ事前許可ヲ受ケ居ラサル理
由ノ下ニ下船ヲ拒絶セラレタル事件モアルニ付以後中米諸國行避
難民ニ付テハ蘇ニ訓令ノ携帶金其他ノ條件ヲ備フルノ外(一)凡テ行
先國領事ノ入國査證ト共ニ豫メ行先國政府ノ入國許可ヲ受ケタル
確證ヲ有スル者(二)又是等避難民ニシテ「パナマ」ニ下船スル者ニ
付テハ同國領事ノ通過査證ト共ニ豫メ「パナマ」國政府ノ下船許
可ヲ受ケタル確證ヲ有スル者ニ非サレハ本邦通過査證ヲ與ヘサル
様取扱方訓電セラレ

(八) 昭和十六年一月十一日在蘇大使宛舊「ラトヴィア」及「リニア」人ニシテ過去ニ於テ英國官憲ノ移住許可ヲ取付ケタルモノ數百名ガ「パレスタイン」へ赴ク爲本邦通過査證方運動中ノ由ナルモ「パレスタイン」政府ハ此種移民中ニ替玉混入ノ虞アル爲再調査ノ上ニ非サレハ入國ヲ許可セサル趣ナル旨注意方電報セララル

(九) 昭和十六年二月三日在歐各館宛「ブラジル」國ニ於テハ猶太避難民ニ對シ本年一月七日前ニ査證取付濟ノ者ノミ入國又ハ通過ヲ許可スルコトトナリタル旨訓電セララル

(十) 昭和十六年三月十七日蘇及在歐各館宛當分歐洲避難民ニ對シテ通過査證ヲ附與スル在外公館ヲ在蘇大使館ニ限定スルコト竝ニ同館ニ於テ査證ヲ與フヘキ者ノ數ハ本省ヨリ訓令スルコトニ取扱方夫々訓電セララル

(出) 昭和十六年三月十九日蘇及浦潮宛昭和十五年十二月二十日以前ニ歐洲避難民ニ與ヘタル我方通過査證ハ再檢閱ノ上行先國入國手續

ノ完全ナル者ニ對シテハ檢印ヲ施シ右檢印ナキ者ハ本邦船ニ乗船セシメサルコトニ取扱方訓電セララル

本邦停滯者ト其ノ滯留事由

以上ノ如ク避難民ノ取扱方ニ付テハ昭和十三年十月以來數次ニ亘リ訓令セララル所アリ違訓ノ査證ナキ限り本邦ニ停滯者ヲ生スル筈ナキモノノ如シト雖モ内務省ノ報告ニ依レハ之等通過避難民ニシテ本邦ニ滯留セル者ノ數昭和十六年三月二十日現在ニ於テ千七百名ニ達シ居レリ(其ノ内譯別表ノ通)其ノ後尙多少増加セルモノノ如シ其ノ理由大体左ノ如シ

(一) 中米諸國及「パレスタイン」行ノ如ク我方通過査證附與後行先國ノ入國手續ニ改正アリ行先國領事ノ入國査證アリト雖モ夫レノミニテハ入國シ難ク更ニ行先國政府ノ入國許可ヲ必要トスルニ至リタルモノ

本件ニ付テハ前記訓令(七)(八)ノ通關係公館ニ訓電アリタレトモ夫

レ以前ニ於テ査證濟ノモノ相當アリタリト思考セラレ
(二)行先國ノ入國査證ナキモノ

本事由ハ主トシテ在「カウカス」領事館ノ取扱ヒシモノニ多ク前
記訓令(四)及(五)ノ通り同館ニ注意ヲ與ヘラレタルモ夫レ以前既ニ査
證濟ノモノ多數アリシ如シ、同館ニ於テ通過査證ヲ與ヘシ者ノ總
數ハ二千百三十二名ナリ

(三)我方通過査證附與後ニ於テ行先國入國査證ノ有効期間經過ノ爲更
ニ手續中ノモノ

米國行ノ如キハ同國入國ノ爲ノ移民査證ノ有効期間ハ四ヶ月ニ
シテ出國手續等ニ時日ヲ要シ速ニ其ノ期間ヲ經過スルニ至リシ
者相當アリ本事由該當者ハ多少時日ハ要スルモ延長許可ヲ獲得
スルノ見込アルヘシ

(四)單ニ一時的船待中ノモノ

結局就中問題トナルハ前記(一)(二)該當者ナリト認メラル

別紙添附

米三極秘合第六三五號

昭和十六年五月三十日

外務大臣 松岡 洋右

宛先ハ末尾記載ノ通り

本邦通過歐洲避難民ニ關スル件

本邦通過米大陸行歐洲避難民ハ客年四五月頃ヨリ漸次多數我國ニ到來シタルカ其ノ中ニハ行先國ノ入國手續ニ瑕疵アル爲直ニ本邦ヲ出國シ難キ者意外ニ多ク右避難民ニシテ神戸及横濱ニ於テ滯留セル者千數百名ニ上リ尙續々渡來セントスル傾向アリタルニ付在本邦猶太人協會等ヲ督勵シテ之等國內滯留者ノ出國方ニ努ムル所アリタルモ其ノ實績涉々シカラス依テ此種避難民ノ渡來ヲ制限ス

外務省

ル爲本年三月在歐各館ニ訓令シテ避難民ニ對スル通過査證事務ハ在蘇大使館ニ限り之ヲ取扱ヒ同館ニ於テハ充分本省下連絡ノ上ニ非サレハ査證セサルコトトシ其他ノ各館ニ於テハ右査證事務ハ取扱ハサルコトニ措置シ尙客年十二月二十日以前在歐各館ニ於テ附與セシ此種通過査證ニハ行先國ノ入國手續ニ缺點アル惧ナキニ非ラサルニ付在蘇大使館竝ニ在浦潮總領事館ニ於テ之ヲ再應檢閱ノ上入國條件ヲ完備セルモノノミニ檢印ヲ施シ右檢印ナキ者ハ浦潮ニ於テ本邦船ニ乗船セシメサルコトトシ實行中ナルカ右ニ依リ新規ノ渡來ニ付テハ相當ナル制限ノ實ヲ舉ケ得タルモ國內滯留者ノ出國ハ依然トシテ涉々シカラス今後尙數ヶ月ヲ要スルモノト認メラルル實情ナリ就テハ避難民ニ對スル事務取扱ノ必要上是等猶太人其ノ他歐洲避難民ニ對スル米洲各國ニ於ケル入國法規竝ニ入國通過ノ實際取扱一殊ニ領事ノ査證ヲ有スルニ於テハ特ニ本國政府ノ許可ヲクトシ入國可能ナリヤ。査證有効期間、其他ノ入

外務省

國條件ニ承知致度ニ付右責任國及兼任國又ハ貴管關係ノ分御取調
ノ上至急御報告相成度別紙右避難民ニ關スル調書添附此段申進ス
本信送付先 在北 中 南米各公館長

外
務
省

I-0882 |

陸軍省第一課
陸軍部第三課

九

(分類)

電 信 案	電送第 20267 號	主管
	昭和16年5月31日 午後 時 分	栗田司令官
外 務 省	件名 米洲方面行進隊 本邦	主任 第三課長
	件名 米洲方面行進隊 本邦	發電係
	第 二 八 號	結核
	(絡)	昭和十六年 五月 三十一日 起草
		31 113

貴電第七二號之旨
米洲方面行進隊之しき目下本邦に留るる
者約千五百名にしき隊等ハ隊方ノ道過査治ニテ

係来々し、柏文行先國へ入國手續増明カサレ
為取、數ヶ月滞在し居り之カ始末、申り居り處
内務省側ニテハ、何日迄に以儘ニ差呈シテ、國
内事情ノ詳サ、ル所ナルニ付、茲ニヶ月位、同、米國
ニ滞ルニ場合、速書ノ方面、向テ強制遣送ノ
手取、米外外ノ意見、爲ナリ、其ノ下月、起ル
米外外ノ若干超エルニ
米外外ノ期向内、行先國ノ入國許可ヲ得ん具以

電
信
案

外
務
省

(日本標準規格 B5)

(日本標準規格 B5)

I-0882

歐亞局長
 法政事務課長
 日清省の...
 用件、家...
 改...
 累...

(分類)

電 信 案	ホツフアー 博士 博士	電送第 20405 號	主管 栗利加昌
		1916年6月2日 時 分 發	主任 第三課長
外 務 省	エント、ブライトマ 博士	件名 「ホツフアー」博士、入國査	宛 在野 大島大使
		記録件名	發 松名大臣

東洋製糖研究所...
 第 四 六 九 號
 (概 類 免)

小坂
 報 70
 2

電信課長
 發電係

日本標準規格 B5

電 信 案	外 務 省
程寶十九者ハ夫レ迄... リ(本電、趣旨米へ電報スミ) 紐育・暎秀坂へ暗送アリタシ	

日本標準規格 B5

I-0882

機密課長
 機密課長

(分類)

電 信 案	脚 廣 理 ア リ タ シ	レ 海 陸 軍 十 二 旅 十 八 往 復 合 第 六 七 二 強 二 依 リ	左 記 未 開 行 外 國 人 ノ 名 レ 通 過 査 証 所 異 差 支 十 二 但 シ	略 電 送 第 204 號	主 管
				昭 和 十 六 年 六 月 二 日 時 分 發	栗 利 加 良 三 主任
外 務 省	レ 海 陸 軍 十 二 旅 十 八 往 復 合 第 六 七 二 強 二 依 リ	レ 海 陸 軍 十 二 旅 十 八 往 復 合 第 六 七 二 強 二 依 リ	左 記 未 開 行 外 國 人 ノ 名 レ 通 過 査 証 所 異 差 支 十 二 但 シ	第 二 九 號	在 ル マ ニ ア 筒 井 公 使
				記 録 件 名	發 松 石 大 臣

電信課長
 發電係
 小坂
 73
 昭和十六年五月二十日起草

(日本標準規格 B5)

電 信 案	外 務 省
-------------	-------------

人ノ思想關係、密疑ノ点ヲ限リ同ノ及者ノ妻
 子ニ入國査証ヲ與クルヲ差支ナシ

(日本標準規格 B5)

I-0882

(分類)

電送第 20988 號		主管	
15.6 5時10分發		栗利加局長	
宛	在ルーマニア	主任	第三課長
名	米玉引場民ノ通過證	發	松 岩 外務大臣
件	心ニ架スル件	録件名	

要地ヲ引揚ケ帰ニセントスル左記米玉人ノ通過證ニ架
 ン貴館ニ於テハ本省ノ訓令アルニ非サレハ取扱難ヤ旨
 回答セラレタル趣ヲ以テ在京米玉大使館ヨリ返心附此

昭和 二十一年 六月 四日起草
 5 10

(日本標準規格 B5)

電 信 案	記
外 務 省	(1) Leopold BACHMANN 及其ノ妻
	(2) Karl Eugen BACHMANN
	(3) Max BACHMANN 及其ノ妻ト子
	及 P. Rumanianian passport 3枚
	(4) Hans Rudolf BACHMANN
	及 German passport 3枚

(日本標準規格 B5)

I-0882

888

方依頼越タル事、右ノ避難民ト認めラレタルニ因ルニ
ノト思料セラルルニ此ノ種ノ避難民トシテ取

扱フノ要ナキニ付、（本國に在リタル外國公使館に）
特ニ送リタル場合ノ外、（通達省に送リタル場合）
成テ尚今後取扱ニ疑ハレ場合ハ一應清洲

~~1941~~

電信案

外務省

(日本標準規格B5)

888

記

(1) Beatrix Bergen 米國公使館書記

(2) Louis Carroll

(3) Mattie Marshall

(4) Rachel Forram 及共ノ類

(5) Sam Joseph 及共ノ類

(6) Harry Ornstein 及共ノ類

電信案

外務省

(日本標準規格B5)

I-0882

東京第一電

東京第一電

(中川)

(分類)

電 信 案	第 一 三 一 號	電送第 21001 號	主任 亞利加局長
16 年 6 月 5 日 午後 8 時 20 分 發	宛 在 浦 洲	件 名 上海行船老人五人ノ通	主任 第三課長
送 査 証 之 關 係 仰	發 松 島 大 臣	記 録 件 名	昭和十一年 七月 二 日 起 草
同 人 等 ノ 有 見 上 海 乘 入 許 可 書 ハ 既 有 效 期 間			
ヲ 經 過 シ 無 效 ノ 人 ニ シ ヲ 之 リ 退 公 認 ト ハ 將 來			
外 務 省			

電信課長

主任 第三課長

昭和十一年 七月 二 日 起 草

小坂

15 30

(日本標準規格 B5)

電 信 案	外 務 省
① Henry Schwartz 及 其 娘 二 名	
② Sigmund Feferman	
③ David Salzman	
④ Rose Kaufman Costa	
⑤ Sam Packet	
⑥ Edwin Friedman	
⑦ 及 至 ⑬ ハ 外 國 人 ノ 取 扱 者 ヲ 有 ス	

(日本標準規格 B5)

I-0882

寫送先

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 儀典 會計 會社 秘書官

分類 I 46.01-2

電信課長

秘

大臣 次官

松岡外務大臣

第九六號

昭和16 二五五〇八 略

ブカレスト 六月六日後發 七日後着

簡井公使

貫電第三〇號ニ關シ(米國引揚民通過查證ニ關スル件)

御來示ノモノハ何レモ避難民ト認メラレン者(猶太人多キ事名前ニテ御分リノ通りニテ當國最近ノ猶太人征伐ノ結果米國籍ヲ取得セル猶太人カ國外移住セントスル者ニシテ未タ嘗テ米國ニ居住セルコトナキ者或ハ妻ノミカ米國籍ヲ有スル者或ハ「アファイダビト」ヲ有スルニ過キササル者等ニテ米國人カ本國ニ歸ル場合トハ認メ得サル次第ナリ尙當方ニテ本省ノ訓令云々トハ答へ居ラス此ノ種ノ

記録簿 民族問題 猶太人問題

ノ惡例トナレハ其現外陸海官憲ハ同ノ等ノ
後事ヲ阻止シヨキ意欲ナクハ本折亦横印ヲ
此種者ハ
此ハス乗船セシメザン様可然ハ取計アリタシ

電信案

外務省

(日本標準規格B5)

外務省

S

9460-3

2487

I-0882

外機密

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人事 儀典 文書 會計 秘書官

寫送先

分類 I 460 1-2

2

場合ハ在蘇大使館ノミ權限ヲ有スト答ヘ置ケリ右ハ恐ラク本省ト
交渉シ本省ヨリ訓令ヲ發出セシメン爲ニ構ヘタル口實ト想像サル
尙又(一)カ米國公使館書記トハ當方ニハ申出テサリキ
右ニ拘ラス查證ヲ與フル要アラハ其ノ旨訓令請フ(了)

外務省

S 9460-3 2488

記者

長官 猶其人問題

昭和16 一五五九六、暗 プカレスト 六月七日後發 歐、亞
本 省 八日前着

松岡外務大臣

筒井公使

第九七號

往電第九六號ニ關シ

我國ニハ「ユダヤ」人問題ナキ故國民中能ク危險ヲ知ラサルモノ
多キモ彼等カ平時ニ於テ獅子身中ノ蟲戰時ニ於テ敵ノ第五列の存
在タルコト多キコトハ歐洲各國孰レモ苦キ經驗濟ナレハコソ非人
道的迫害スラ敢テシ居ル次第ニテ是ヲ東亞共榮圈內ニ拾ヒ込ムハ
危險千萬ナリ

上海始メ支那ニ於ケル反日勢力中ノ尤ナルモノニ「ユダヤ」勢力

外務省

S 9460-3 2489

I-0882

アルハ謂フ迄モナキ處英文朝日「グラフ」三月號ニ依レハ上海ニ
 獨歐ヨリ「ユダヤ」避難民二萬三千其ノ内一萬一千ハ日本官憲
 ノ同情的態度ノ御蔭ニテ虹口ニ住ミ日本人相手ノ料理店「カフェ
 」等ヲ開キ居ル由ナルカ防諜上極メテ危険ト存ス
 我國ハ積極的ニ「ユダヤ」人迫害ヲ爲ス要ハナキモ歐洲ニ居タタ
 マラス彷徨ヒ來ル彼等ヲ大東亞ニ決シテ圍ハサル要心タケハ肝要
 ト存ス

從テ何等カノ都合上冒頭往電ノ如キ避難民ニ査證ヲ與フル要アル
 場合ト雖モ例ヘハ在本邦米國大使館カ彼等カ本邦通過必ス渡米(其
 ノ場合ニモ彼等カ更ニ上海ニ行ク危険ハ殘ルヘシ)スルコトニ付
 進ンテ保障スルニ於テハ査證ヲ與フルコトアルヘシトノ態度ヲ執

外務省

9460-3

2490

ル程度ニ止ム旨ト然ルヘキカト存ス(了)

外務省

9460-3

2491

I-0882

亞米利加局

Legation Royale de Danemark
明三奉此在保函三十七日
冬方三奉此在保函三十七日
由三奉此在保函三十七日
冬方三奉此在保函三十七日
冬方三奉此在保函三十七日
冬方三奉此在保函三十七日
冬方三奉此在保函三十七日
冬方三奉此在保函三十七日
冬方三奉此在保函三十七日
冬方三奉此在保函三十七日

N o t e V e r b a l e

課三

The Royal Danish Legation present their compliments to the Imperial Ministry for Foreign Affairs and have the honour, acting under instructions from the Ministry for Foreign Affairs in Copenhagen, to inform the Imperial Ministry that the Japanese Legation in Stockholm has annulled a Japanese transit visa which was granted Mr. Schullem Sekane Segal and his wife Mrs. Roberta Segal valid until the 19th July 1941. The Legation has also refused an application to transfer the visas from the applicants' Spanish passports which have become out of date to valid passports affidavits No.207 and 208 issued by the Consulate General for the United States of America in Copenhagen.

The Royal Danish Legation beg to ask the Imperial Ministry to be kind enough to instruct the Japanese Legation in Stockholm by telegram to furnish the two above mentioned passport affidavits with Japanese transit visas thus enabling Mr. and Mrs. Segal to go to the United States of America via Japan.

Tokyo, June 9th, 1941.

